

## I. 要約

厚生労働行政推進調査事業費補助金(長寿科学政策研究事業)

要介護高齢者等への医療ニーズを把握する指標の開発研究(21GA2002)

研究代表者 松田 晋哉 産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授  
研究分担者 村松 圭司 産業医科大学 医学部 公衆衛生学 准教授  
研究分担者 藤本 賢治 産業医科大学 産業保健データサイエンスセンター 助教  
研究分担者 劉 寧 産業医科大学 医学部 公衆衛生学 助教  
研究分担者 松垣竜太郎 産業医科大学 医学部 公衆衛生学 助教  
研究分担者 野元 由美 産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学 講師

### 【研究要旨】

- A. 研究目的: 高齢化の進展は医療と介護とのニーズを複合化させる。そのため、介護現場では脳血管障害、認知症、筋骨格系疾患のみならず糖尿病、慢性心不全やがんといった多様な疾患への対応が必要となっている。介護老人保健施設や介護医療院における利用者の適切な受入のためには利用者の医療ニーズを的確に把握することが必要である。そこで、本研究では医療・介護のレセプトデータや高齢者の状態・ケアの内容等に関するデータを収集して、老健等における医療ニーズの評価指標の作成を試みる。
- B. 資料及び方法: 本研究では以下の2つの研究を行った。
1. 老人保健施設における医療ニーズの検討: 東日本の1自治体における平成29(2017)年度から30年(2019)度の医療保険と介護保険レセプトを個人単位で連結したデータベースを用いて、2017年度に老人保健施設に入所した者について、以下の分析を行うことでその医療ニーズを検討した。
    - (1) 老人保健施設退所者の医療介護サービスの利用状況に関する検討: 2017年度に老人保健施設を退所した高齢者で、退所月の翌月に入院、入所がなく、また死亡のない者を抽出し、その傷病の状況を医科レセプトから、そして医薬品の処方状況を医科レセプトと調剤レセプトから把握した。さらに、医科レセプト、調剤レセプトを用いて、当該月の医療費の状況を診療医区分ごとに分析した。
    - (2) 所定疾患施設療養費対象患者の退所後の追跡: 2017年度に老人保健施設を退所した利用者を所定疾患施設療養費の対象者とそれ以外に分けて、その後の状況を医科レセプト及び介護レセプトで検討した。具体的には、以下の検討を行った。
      - i 性・年齢階級・要介護度別の所定疾患施設療養費算定率を検討した。
      - ii 主な傷病の有無を入所前及び退所後の医科レセプトから把握し、傷病と所定疾患施設療養費算定の有無との関連を分析した。
      - iii 退所後の死亡の有無を2019年3月まで医科レセプトを追跡して調査した。
      - iv 施設要因との関連を見る目的で、施設別の利用者数、疾患施設療養費算定の割合、入所患者の平均在所日数、要介護4以上の割合を算出した。また、施設類型、部屋類型(個室、個室、多床室)、ユニット型か否か別の疾患施設療養費算定の状況を分析した。

2. 慢性期における医療ニーズ調査票の設計: 上記分析結果を踏まえて、慢性期における医療ニーズを把握するための調査票(β版)の設計を行った。

## C. 結果

### 1. 老人保健施設における医療ニーズの検討

- (1) 老人保健施設退所者の医療介護サービスの利用状況に関する検討: 分析の結果、訪問診療と医療保険による訪問看護が入る病態で医療費が多かかっていることが明らかになった。薬効別医薬品費の分析から、これらの疾患は特掲診療料の施設基準等別表第7号に掲げる疾病等(多発性硬化症、重症筋無力症、スモン、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン病など)の難病が多く含まれることが示唆された。また、高額な血液凝固阻止剤の使用を必要とする心房細動も医療費を高める要因として検出された。
- (2) 所定疾患施設療養費対象患者の退所後の追跡: 所定疾患療養費の算定状況の分析では、要介護度がその算定に有意に関連していた。上記の感染症に使用する抗菌薬等の影響は、小さくなく、有病率も勘案すると、現行の所定疾患療養費制度で対応できていると考えられた。ただし、令和2(2020)年から流行が続いている新型コロナウイルス感染症においては、高齢者施設におけるクラスターが大きな問題となっており、施設での対応が求められていることを考えると、重症度を加味した医療ニーズ及びそれに対する介護報酬(あるいは医療報酬)上の評価の再検討が必要である。

### 2. 医療ニーズを把握するための調査票(β版)の設計

1.の分析結果及び我々のこれまでの研究成果を活用して、主治医意見書の「4. 生活機能とサービスに対する意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」に記載のある情報を用いたサービスの質評価も踏まえた医療ニーズ調査票(β版)を作成し、またICTを活用して収集するシステムをPC上でモデル的に作成した。

#### D. 考察

老人保健施設後の要介護高齢者の傷病及び医療介護サービス利用の状況をみると、訪問診療と医療保険による訪問看護が入る病態で医療費が多くかかっていることが明らかとなった。なかでも厚生労働省が定める特掲診療料の施設基準等別表第7号に掲げる疾病等については、医薬品費も高額になることから、老人保健施設における医療ニーズ対応に関して別途配慮がある疾患であると考えられた。また、NOAC/DOACのような心房細動における脳梗塞予防に使われる薬についても検討が必要であることが示唆された。

こうした医療ニーズの経済的評価を質評価とともに行うために、主治医意見書の「4. 生活機能とサービスに対する意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」に記載のある情報を中核とした医療ニーズ調査票(β版)を作成した。これについては、今後関連団体(全国老人保健施設協会、日本介護医療院協会)の関係者と協議を行い、内容の加筆修正を行う予定である。

#### E. 結論

医療保険及び介護保険で収集している各種情報(認定調査票、介護保険レセプト、医療保険レセプト、主治医意見書)を用いることで、複数の慢性疾患を持った要介護高齢者の医療ニーズを評価する体系を構築できることを示した。また、この評価票を分析することで、医療ニーズに対応した質評価の評価体系を作成できることも示した。適切な評価を行うためにも、こうした質評価の仕組みの実装が不可欠であると考えられる。

F. 健康危険情報   なし

G. 知的財産権の出願   なし

H. 利益相反   なし

I. 研究発表   なし

## II. 各分析課題の結果

### 1. 老人保健施設における医療ニーズの検討

#### A. 目的

高齢化の進展は医療と介護とのニーズを複合化させる。そのため、介護現場では脳血管障害、認知症、筋骨格系疾患という要介護状態の原因となる三大疾患以外の傷病への対応、具体的には糖尿病、慢性心不全やがんといった多様な疾患への対応が必要となっている。それだけでなく、入所中には肺炎や尿路感染症といった感染症を発症することがある。現状の介護老人保健施設や介護医療院(以下、老健等)における医療の評価は、喀痰吸引や経管栄養の実施人数が主な評価項目である。喀痰吸引や経管栄養以外で医療ニーズを適切に評価することで介護老人保健施設や介護医療院における適切な受入につながる。そこで、本研究では申請者らのこれまでの研究成果を活用しながら、医療・介護のレセプトデータや高齢者の状態・ケアの内容等に関するデータを収集して、老健等における医療ニーズの評価指標の作成を試みる。

#### B. 資料及び方法

- (1) 資料: 本分析で用いた資料は東日本の1自治体における2017年度から2019年度の医療保険(国民健康保険及び後期高齢者医療制度)及び介護保険のレセプトである。と被保険者番号、生年月日、年齢、性別などを匿名化したうえで上記のレセプト情報を個人単位で連結するロジックを開発した。このロジックを用いて調査協力自治体側で作成したダミーIDを用いて、データベースを作成し、分析に用いた。
- (2) 方法: 本研究では以下の検討を行った。
  - ① 老人保健施設退所者の医療介護サービスの利用状況に関する検討: 老人保健施設利用者が、医療的には慢性期にあることを考慮すると、退所後の傷病や利用する医療サービス(特に医薬品)の内容を検討することで、老人保健施設入所者の傷病構造を類推することができる。そこで、上記データベースから2017年度に老人保健施設を退所した高齢者で、退所月の翌月に入院、入所がなく、また死亡のない者を抽出し、その傷病の状況を医科レセプトから、そして医薬品の処方状況を医科レセプトと調剤レセプトから把握した。さらに、医科レセプト、調剤レセプトを用いて、当該月の医療費の状況を診療医区分ごとに分析した。表1は分析で用いた診療区分を示したものである。介護保険についても主なサービスの利用状況を介護レセプトから把握するとともに、当該月に介護給費を求めた。医薬品については薬効3桁別に処方されている医薬品の数と給付額を算出し、給付額が特に高いケースをリストアップした。医療費及び介護給費、さらに医療と介護給付費の合計については、その多寡に関連する要因を多変量解析によって検討した。
  - ② 所定疾患施設療養費対象患者の退所後の追跡: 老人保健施設入所者について

は、入所中に肺炎、尿路感染症、抗ウイルス薬を必要とする帯状疱疹を発症し、その治療を行った場合には所定疾患施設療養費が支給される仕組みとなっている。こうした医療を必要とした患者が退所後どのような経過をたどるかを検証することは、介護保険における医療の在り方を考える上で参考になると考えられる。そこで本分析では 2017 年度に老人保健施設を退所した利用者を所定疾患施設療養費の対象となった者とならなかった者に分けて、その後の状況を医科レセプト及び介護レセプトで検討した。具体的には、以下の検討を行った。

- i 性別、年齢階級別、要介護度別の所定疾患施設療養費算定率の差を検討した。
- ii 主な傷病の有無を入所前及び退所後の医科レセプトから把握し、傷病と所定疾患施設療養費算定の有無との関連を分析した。
- iii 退所後の死亡の有無を 2019 年 3 月まで医科レセプトを追跡して調査した。
- iv 施設要因との関連を見る目的で、施設別の利用者数、疾患施設療養費算定の割合、入所患者の平均在所日数、要介護 4 以上の割合を算出した。また、施設類型(療養強化型、従来型、在宅強化型、療養型)、部屋類型(個室、准個室、多床室)、ユニット型か否か別の疾患施設療養費算定の状況を分析した。

統計学的分析は SPSS ver.21 (東京 IBM 社)によって行った。

#### 倫理的事項

本研究の実施にあたっては産業医科大学倫理委員会の審査承認を受けた(承認番号: R3-062号)。

表 1 分析で用いた診療区分

| データ区分 | データ区分の名称 | 診療行為区分 |
|-------|----------|--------|
| 10    | 初・再診     | 診察料等   |
| 11    | 初診       |        |
| 12    | 再診       |        |
| 13    | 指導       |        |
| 14    | 在宅       |        |
| 20    | 投薬       | 処方     |
| 21    | 内服       |        |
| 22    | 頓服       |        |
| 23    | 外用       |        |
| 24    | 調剤       |        |
| 25    | 処方       |        |
| 26    | 麻毒       |        |
| 27    | 調基       |        |
| 28    | 投薬その他    |        |
| 30    | 注射       | 注射     |
| 31    | 皮下筋肉内    |        |
| 32    | 静脈注      |        |
| 33    | 注射その他    |        |
| 39    | 薬剤料減点    |        |
| 40    | 処置       | 処置     |
| 50    | 手術       | 手術     |
| 54    | 麻酔       |        |
| 60    | 検査・病理    | 検査     |
| 70    | 画像診断     | 画像診断   |
| 80    | その他      | その他    |
| 80    | 調剤手技     |        |
| 81    | 調剤基本料    |        |
| 82    | 調剤基本料加算  |        |
| 83    | 調剤薬学管理料  |        |
| 84    | 調剤在宅指導他  |        |
| 90    | 入院基本料    | 入院     |
| 92    | 特定入院料    |        |
| 97    | 食事・生活療養  |        |
| C0    | 調剤医薬品・材料 | 調剤     |
| C1    | 調剤内服     |        |
| C2    | 調剤内滴     |        |
| C3    | 調剤頓服     |        |
| C4    | 調剤注射     |        |
| C5    | 調剤外用     |        |
| C6    | 調剤浸煎     |        |
| C7    | 調剤湯      |        |
| C9    | 調剤材料     |        |



C. 結果

表 1 老人保健施設退所者における退所月の翌月における医療介護サービス利用状況(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし 外来受診あり N=1,275)

| 要介護度 | 対象者  | 外来    | 訪問診療   | 訪問看護(医療) | 訪問介護  | 訪問看護(介護) | 福祉機器貸与 | 通所介護  | 通所リハ  | グループホーム |
|------|------|-------|--------|----------|-------|----------|--------|-------|-------|---------|
| 要介護1 | 122  | 9.6%  | 100.0% | 25.4%    | 13.9% | 32.8%    | 18.0%  | 36.1% | 26.2% | 3.3%    |
| 要介護2 | 314  | 24.6% | 100.0% | 28.0%    | 5.7%  | 39.8%    | 13.7%  | 29.9% | 33.1% | 2.5%    |
| 要介護3 | 330  | 25.9% | 100.0% | 31.2%    | 14.5% | 38.8%    | 18.5%  | 30.9% | 36.7% | 3.3%    |
| 要介護4 | 339  | 26.6% | 100.0% | 33.6%    | 12.7% | 41.9%    | 19.8%  | 33.3% | 40.1% | 1.5%    |
| 要介護5 | 170  | 13.3% | 100.0% | 37.6%    | 18.2% | 34.1%    | 29.4%  | 31.8% | 34.7% | 0.6%    |
| 総計   | 1275 |       | 100.0% | 31.4%    | 12.3% | 38.7%    | 19.1%  | 31.9% | 35.5% | 2.3%    |

表 1 は分析対象自治体における 2017 年度の老人保健施設退所者(要介護 1 以上、入院・入所なし)1,275 名の退所月翌月の医療介護サービス利用状況を要介護度別に見たものである。要介護 4 の者が 26.6%で最も多く、次いで要介護 3 が 25.9%、要介護 2 が 24.6%となっている。抽出条件より外来の利用者は 100%となっている。訪問診療は全体では 31.4%が使っており、要介護度が高くなるほどその割合が高くなっていった(要介護 5 で 37.6%)。訪問看護は医療保険の者が全体で 12.3%、介護保険の者が 19.1% となっている。いずれも要介護 1 の利用者の割合が要介護 2 よりも高く、以後要介護度が重くなるにつれて割合は高くなっていった(要介護 5 は医療保険で 18.2%、介護保険で 29.4%)。訪問介護は全体で 38.7%で要介護 4 の利用割合が高い。福祉機器貸与は全体で 70.7%で、要介護度が重くなるほど利用率は高くなっていく(ただし、最も割合が高いのは要介護 4 の 79.9%)。通所介護の利用者は全体で 31.9%で、要介護度が重くなるにつれて減少する傾向が観察された(要介護 1: 36.1%、要介護 5: 31.8%)。通所リハビリテーションの利用率は全体で 35.5%で、要介護度の重い者で利用率が高い傾向があった。グループホームは全体で 2.3%であるが、要介護度が重くなるにつれて利用割合は減少していった(要介護 1: 3.3%、要介護 5: 0.6%)。

表 2 老人保健施設退所者における退所月の翌月における主な傷病の状況(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし 外来受診あり N=1,275)

| 要介護度 | 対象者   | 糖尿病   | 認知症   | 他神経系疾患 | 眼疾患   | 高血圧性疾患  | 虚血性心疾患 | 心房細動  | 心不全   | 脳血管障害 | 食道、胃および十二指腸の疾患 |
|------|-------|-------|-------|--------|-------|---------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 要介護1 | 122   | 35.2% | 28.7% | 47.5%  | 20.5% | 60.7%   | 19.7%  | 9.8%  | 22.1% | 25.4% | 52.5%          |
| 要介護2 | 314   | 35.7% | 25.5% | 45.5%  | 22.3% | 69.4%   | 20.1%  | 10.8% | 30.3% | 29.3% | 59.6%          |
| 要介護3 | 330   | 37.9% | 23.3% | 49.7%  | 23.6% | 68.8%   | 21.2%  | 10.3% | 27.3% | 34.5% | 57.6%          |
| 要介護4 | 339   | 33.3% | 23.9% | 48.1%  | 22.7% | 70.2%   | 20.1%  | 13.9% | 33.3% | 30.4% | 54.0%          |
| 要介護5 | 170   | 34.1% | 24.1% | 52.4%  | 14.7% | 62.4%   | 18.2%  | 18.2% | 30.6% | 41.8% | 55.3%          |
| 総計   | 1,275 | 35.4% | 24.6% | 48.4%  | 21.6% | 67.7%   | 20.1%  | 12.4% | 29.6% | 32.2% | 56.3%          |
| 要介護度 | 対象者   | 肝疾患   | 皮膚疾患  | 下肢関節障害 | 脊椎障害  | 他筋骨格系疾患 | 骨折     | 腎不全   | 尿路感染症 | 肺炎広義  | 悪性腫瘍           |
| 要介護1 | 122   | 13.9% | 28.7% | 11.5%  | 19.7% | 39.3%   | 16.4%  | 4.9%  | 7.4%  | 0.8%  | 19.7%          |
| 要介護2 | 314   | 10.8% | 33.8% | 13.4%  | 22.3% | 42.4%   | 20.1%  | 7.3%  | 6.1%  | 5.4%  | 13.1%          |
| 要介護3 | 330   | 10.0% | 36.4% | 13.3%  | 17.0% | 37.6%   | 19.7%  | 6.4%  | 6.7%  | 4.5%  | 15.2%          |
| 要介護4 | 339   | 12.7% | 42.2% | 16.5%  | 22.7% | 40.1%   | 27.1%  | 9.4%  | 7.1%  | 5.3%  | 12.1%          |
| 要介護5 | 170   | 11.2% | 45.9% | 5.3%   | 8.8%  | 30.0%   | 13.5%  | 4.7%  | 5.9%  | 8.8%  | 13.5%          |
| 総計   | 1,275 | 11.5% | 37.8% | 12.9%  | 19.0% | 38.6%   | 20.6%  | 7.1%  | 6.6%  | 5.2%  | 14.0%          |

表 2 は分析対象自治体における 2017 年度の老人保健施設退所者(要介護 1 以上、入院・入所なし)1,275 名の退所月翌月の主な傷病の有病率を要介護度別に見たものである。全体で見ると高血圧性疾患が 67.7%でもっとも高く、次いで食道、胃および十二指腸の疾患 56.3%、他筋骨格系疾患 38.6%、皮膚疾患 37.8%、糖尿病 35.4%、脳血管障害 32.2%、心不全 29.6%、認知症 24.6%となっている。要介護度別にみると、肺炎広義(誤嚥性肺炎とそれ以外の肺炎を合計したもの)は要介護度が重くなるにつれて有病率が高くなっていった(要介護 1 が 0.8%、要介護 5 が 8.8%)。



表 3 老人保健施設退所月の翌月の医療費に関連する要因の回帰分析の結果  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 説明変数                   | 単回帰分析   |              |       |        | 重回帰分析                 |              |       |        | 共線性の統計量 |       |
|------------------------|---------|--------------|-------|--------|-----------------------|--------------|-------|--------|---------|-------|
|                        | 回帰係数    | 回帰係数 95%信頼区間 |       | 有意確率   | 回帰係数                  | 回帰係数 95%信頼区間 |       | 有意確率   | 許容度     | VIF   |
|                        |         | 下限           | 上限    |        |                       | 下限           | 上限    |        |         |       |
| (定数)                   |         |              |       |        | 16059                 | 475          | 31643 | 0.043  |         |       |
| 性別 (男=0、女=1)           | -11,600 | -18484       | -4716 | 0.001  | -7318                 | -13654       | -983  | 0.024  | 0.925   | 1.081 |
| 訪問診療                   | 31,066  | 24315        | 37817 | <0.001 | 23507                 | 16878        | 30136 | <0.001 | 0.858   | 1.165 |
| 訪問看護 (医療保険)            | 37,707  | 27973        | 47442 | <0.001 | 32348                 | 21268        | 43428 | <0.001 | 0.627   | 1.594 |
| 訪問介護                   | 4,033   | -2619        | 10686 | 0.234  |                       |              |       |        |         |       |
| 訪問看護 (介護保険)            | 16,478  | 8231         | 24724 | <0.001 | -9521                 | -18706       | -335  | 0.042  | 0.634   | 1.578 |
| 福祉機器                   | 5,792   | -1321        | 12905 | 0.110  |                       |              |       |        |         |       |
| 通所介護                   | -10,919 | -17834       | -4005 | 0.002  | -5452                 | -11710       | 806   | 0.088  | 0.955   | 1.047 |
| 通所リハビリテーション            | 2,296   | -4497        | 9089  | 0.507  |                       |              |       |        |         |       |
| グループホーム                | -5,679  | -27540       | 16182 | 0.610  |                       |              |       |        |         |       |
| 糖尿病                    | 20,105  | 13403        | 26806 | <0.001 | 8486                  | 2001         | 14972 | <0.001 | 0.852   | 1.174 |
| 認知症                    | 10,169  | 2711         | 17627 | 0.008  | 6014                  | -808         | 12836 | 0.084  | 0.933   | 1.071 |
| 他神経系疾患                 | 16,560  | 10139        | 22981 | 0.000  | 8768                  | 2774         | 14761 | 0.004  | 0.910   | 1.099 |
| 眼疾患                    | 17,459  | 9675         | 25243 | 0.000  | 8741                  | 1612         | 15870 | 0.016  | 0.940   | 1.064 |
| 高血圧性疾患                 | 7,480   | 552          | 14408 | 0.034  | 834                   | -5571        | 7238  | 0.799  | 0.912   | 1.097 |
| 虚血性心疾患                 | 15,632  | 7624         | 23641 | <0.001 | 5395                  | -2221        | 13011 | 0.165  | 0.869   | 1.151 |
| 心房細動                   | 20,185  | 10459        | 29912 | <0.001 | 12118                 | 3005         | 21231 | 0.009  | 0.896   | 1.116 |
| 心不全                    | 19,219  | 12208        | 26230 | <0.001 | 4887                  | -1984        | 11758 | 0.163  | 0.827   | 1.209 |
| 脳血管障害                  | 4,311   | -2658        | 11281 | 0.225  |                       |              |       |        |         |       |
| 食道・胃および十二指腸の疾患         | 12,538  | 6045         | 19032 | <0.001 | 982                   | -5265        | 7228  | 0.758  | 0.849   | 1.178 |
| 肝疾患                    | 14,032  | 3833         | 24231 | 0.007  | 2548                  | -6781        | 11877 | 0.592  | 0.933   | 1.071 |
| 皮膚疾患                   | 20,039  | 13463        | 26614 | <0.001 | 8134                  | 1984         | 14284 | 0.010  | 0.913   | 1.095 |
| 下肢関節障害                 | 5,645   | -3934        | 15225 | 0.248  |                       |              |       |        |         |       |
| 脊椎障害                   | 8,913   | 711          | 17115 | 0.033  | 3076                  | -4763        | 10915 | 0.442  | 0.853   | 1.172 |
| 他筋骨格系疾患                | 17,904  | 11320        | 24488 | <0.001 | 10396                 | 3961         | 16832 | 0.002  | 0.831   | 1.203 |
| 骨折                     | 11,742  | 3795         | 19690 | 0.004  | 6241                  | -1171        | 13652 | 0.099  | 0.899   | 1.112 |
| 腎不全                    | 62,777  | 50756        | 74798 | <0.001 | 50511                 | 39050        | 61971 | <0.001 | 0.926   | 1.080 |
| 尿路感染症                  | 17,301  | 4268         | 30335 | 0.009  | 9683                  | -2029        | 21396 | 0.105  | 0.967   | 1.034 |
| 肺炎広義                   | 13,891  | -768         | 28551 | 0.063  | 2718                  | -10503       | 15939 | 0.687  | 0.957   | 1.045 |
| 悪性腫瘍                   | 13,604  | 4286         | 22922 | 0.004  | 1672                  | -6827        | 10171 | 0.700  | 0.939   | 1.064 |
| 要介護2 (対照は要介護1)         | 6,106   | -6226        | 18437 | 0.045  | 5310                  | -5707        | 16327 | 0.345  | 0.363   | 2.758 |
| 要介護3 (対照は要介護1)         | 11,958  | -293         | 24208 | 0.090  | 7765                  | -3140        | 18670 | 0.163  | 0.358   | 2.790 |
| 要介護4 (対照は要介護1)         | 13,449  | 1268         | 25630 | 0.102  | 6997                  | -3927        | 17922 | 0.209  | 0.348   | 2.877 |
| 要介護5 (対照は要介護1)         | 16,110  | 2382         | 29838 | 0.094  | 11089                 | -1280        | 23458 | 0.079  | 0.464   | 2.156 |
| 年齢階級75_84歳 (対照は65-74歳) | -2,084  | -14399       | 10230 | 0.740  |                       |              |       |        |         |       |
| 年齢階級85歳以上 (対照は65-74歳)  | -8,346  | -20344       | 3652  | 0.173  |                       |              |       |        |         |       |
|                        |         |              |       |        | R <sup>2</sup> =0.240 |              |       |        |         |       |
|                        |         |              |       |        | Durbin-Watson比=1.95   |              |       |        |         |       |

表 3 は老人保健施設退所月の翌月の医療費に関連する要因の回帰分析の結果を見たものである。対象は表 1、表 2 と同様、2017 年度のもので要介護 1 以上、入院・入所なし、外来受診ありの 1,275 である。説明変数の候補が多いため、単回帰分析の分析結果をもとに重回帰分析を行っている。重回帰分析の決定係数は 0.240 であった。Durbin-Watson 比は 1.95 で、変数間の自己相関は問題ないと判定した。VIF の値を見ると、変数間の共線性の問題もない。

医療費と有意の正の関連を示したのは訪問診療(回帰係数=23,507; 以下同じ)、医療保険の訪問看護(32,348)、糖尿病(8,486)、パーキンソン氏病などの他神経系疾患(8,768)、眼疾患

(8,741)、心房細動(12,118)、皮膚疾患(8,134)、廃用症候群などの他筋骨格系疾患(10,396)、腎不全(50,511)であった。他方、有意の負の相関を示すものは女性であること(-7,318)、介護保険の訪問看護を受けていること(-9,521)であった。要介護度は有意な説明変数としては検出されなかった。

表 4 老人保健施設退所月の翌月の介護給付費に関連する要因の回帰分析の結果  
(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 説明変数                   | 単回帰分析  |         |        |       | 重回帰分析                 |         |       |       |         |       |
|------------------------|--------|---------|--------|-------|-----------------------|---------|-------|-------|---------|-------|
|                        | 回帰係数   | 95%信頼区間 |        | 有意確率  | 回帰係数                  | 95%信頼区間 |       | 有意確率  | 共線性の統計量 |       |
|                        |        | 下限      | 上限     |       |                       | 下限      | 上限    |       | 許容度     | VIF   |
| (定数)                   |        |         |        |       |                       |         |       |       |         |       |
| 性別 (男=0、女=1)           | -662   | -1,870  | 545    | 0.282 |                       |         |       |       |         |       |
| 訪問診療                   | -74    | -1,298  | 1,150  | 0.906 |                       |         |       |       |         |       |
| 訪問看護 (医療保険)            | 1,022  | -706    | 2,750  | 0.033 | -344                  | -2,486  | 1,797 | 0.752 | 0.645   | 1.550 |
| 訪問介護                   | -343   | -1,510  | 823    | 0.564 |                       |         |       |       |         |       |
| 訪問看護 (介護保険)            | 1,838  | 395     | 3,281  | 0.013 | 1,812                 | 19      | 3,605 | 0.048 | 0.644   | 1.552 |
| 福祉機器                   | 655    | -593    | 1,903  | 0.303 |                       |         |       |       |         |       |
| 通所介護                   | -314   | -1,532  | 905    | 0.614 |                       |         |       |       |         |       |
| 通所リハビリテーション            | 756    | -431    | 1,943  | 0.212 |                       |         |       |       |         |       |
| グループホーム                | 457    | -3,354  | 4,268  | 0.814 |                       |         |       |       |         |       |
| 糖尿病                    | 844    | -344    | 2,031  | 0.164 |                       |         |       |       |         |       |
| 認知症                    | -1,757 | -3,072  | -442   | 0.009 | -1,674                | -2,989  | -359  | 0.013 | 0.995   | 1.005 |
| 他神経系疾患                 | 350    | -786    | 1,487  | 0.545 |                       |         |       |       |         |       |
| 眼疾患                    | 473    | -908    | 1,854  | 0.502 |                       |         |       |       |         |       |
| 高血圧性疾患                 | 278    | -937    | 1,492  | 0.654 |                       |         |       |       |         |       |
| 虚血性心疾患                 | 1,257  | -160    | 2,673  | 0.082 | 996                   | -443    | 2,435 | 0.175 | 0.961   | 1.041 |
| 心房細動                   | 1,370  | -353    | 3,093  | 0.119 |                       |         |       |       |         |       |
| 心不全                    | 136    | -1,109  | 1,381  | 0.830 |                       |         |       |       |         |       |
| 脳血管障害                  | 274    | -942    | 1,489  | 0.659 |                       |         |       |       |         |       |
| 食道_胃および十二指腸の疾患         | 1,143  | 0       | 2,287  | 0.050 | 823                   | -343    | 1,988 | 0.166 | 0.956   | 1.046 |
| 肝疾患                    | 933    | -850    | 2,717  | 0.305 |                       |         |       |       |         |       |
| 皮膚疾患                   | 727    | -444    | 1,898  | 0.223 |                       |         |       |       |         |       |
| 下肢関節障害                 | -93    | -1,786  | 1,599  | 0.914 |                       |         |       |       |         |       |
| 脊椎障害                   | 507    | -1,021  | 1,313  | 0.493 |                       |         |       |       |         |       |
| 他筋骨格系疾患                | 146    | 12,622  | 97,288 | 0.806 |                       |         |       |       |         |       |
| 骨折                     | -548   | -1,952  | 855    | 0.444 |                       |         |       |       |         |       |
| 腎不全                    | 492    | -1,726  | 2,710  | 0.663 |                       |         |       |       |         |       |
| 尿路感染症                  | 1,573  | -715    | 3,862  | 0.178 |                       |         |       |       |         |       |
| 肺炎広義                   | -2,256 | -4,818  | 305    | 0.084 |                       |         |       |       |         |       |
| 悪性腫瘍                   | -299   | -1,934  | 1,337  | 0.720 |                       |         |       |       |         |       |
| 要介護2 (対照は要介護1)         | 1,845  | -318    | 4,009  | 0.095 | 1,780                 | -380    | 3,940 | 0.106 | 0.369   | 2.711 |
| 要介護3 (対照は要介護1)         | 1,785  | -363    | 3,934  | 0.103 | 1,632                 | -508    | 3,772 | 0.135 | 0.364   | 2.751 |
| 要介護4 (対照は要介護1)         | 2,157  | 16      | 4,298  | 0.048 | 2,024                 | -108    | 4,157 | 0.063 | 0.360   | 2.778 |
| 要介護5 (対照は要介護1)         | 1,958  | -449    | 4,364  | 0.111 | 1,681                 | -721    | 4,082 | 0.170 | 0.479   | 2.086 |
| 年齢階級75-84歳 (対照は65-74歳) | -225   | -2,209  | 1,758  | 0.824 |                       |         |       |       |         |       |
| 年齢階級85歳以上 (対照は65-74歳)  | -852   | -2,773  | 1,069  | 0.385 |                       |         |       |       |         |       |
|                        |        |         |        |       | R <sup>2</sup> =0.017 |         |       |       |         |       |
|                        |        |         |        |       | Durbin-Watson比=1.48   |         |       |       |         |       |

表 4 は表 3 と同様の対象及び方法で老人保健施設退所月の翌月の介護給付費に関連する要因の回帰分析の結果を見たものである。重回帰分析の決定係数は 0.017 と説明力は低い。Durbin-Watson 比は 1.48 で、変数間の自己相関は問題ないと判定した。VIF の値を見ると、変数間の共線性の問題もない。

医療費と有意の正の関連を示したのは介護保険の訪問看護(回帰係数=1,812; 以下同じ)のみであった。認知症は有意の負の係数(1,674)を示していた。

表 5 老人保健施設退所月の翌月の医療費、介護給付費、医療介護給付費合計の分布の状況  
 (2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 費用      | 四分位の値   |         |         | 平均      | 標準偏差    | 最小 | 最大      |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|---------|
|         | 25      | 50      | 75      |         |         |    |         |
| 医療費     | 13,370  | 34,447  | 66,849  | 48,021  | 57,935  | 0  | 717,715 |
| 介護給付額   | 126,380 | 202,440 | 272,880 | 197,499 | 103,368 | 0  | 761,860 |
| 医療介護給付額 | 167,170 | 245,991 | 321,468 | 245,519 | 118,996 | 0  | 890,780 |

表 5 は分析対象の高齢者における老人保健施設退所月の翌月の医療費、介護給付費、医療介護給付費合計の分布の状況を見たものである。平均値で見ると、介護給付費が医療費の 4 倍(197,499 円/48,021 円)もかかっていることが注目される。

表 6 老人保健施設退所月の翌月の医療介護サービス及び主な傷病の有病率の状況  
(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                         | 訪問診療   | 訪問看護<br>(医療保険) | 訪問介護  | 糖尿病    | 他神経系疾患 | 眼疾患    | 心房細動   | 皮膚疾患   | 他筋骨格系疾患 | 腎不全    | 合計   |
|-------------------------|--------|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|------|
| 第一四分位まで                 | 15.8%  | 7.1%           | 35.0% | 29.9%  | 42.4%  | 18.0%  | 9.0%   | 30.2%  | 31.5%   | 4.8%   | 319  |
| 第二四分位まで                 | 17.0%  | 7.7%           | 40.4% | 24.4%  | 40.4%  | 14.7%  | 8.0%   | 30.1%  | 33.7%   | 3.5%   | 319  |
| 第三四分位まで                 | 33.7%  | 9.6%           | 38.5% | 36.5%  | 49.0%  | 26.9%  | 15.4%  | 43.3%  | 41.7%   | 8.0%   | 319  |
| 第三四分位以上                 | 60.1%  | 23.8%          | 40.5% | 49.2%  | 59.5%  | 27.7%  | 17.7%  | 49.2%  | 47.3%   | 12.5%  | 3181 |
| 全体                      | 31.6%  | 12.0%          | 38.6% | 35.0%  | 47.8%  | 21.8%  | 12.5%  | 38.2%  | 38.5%   | 7.2%   | 1275 |
| p 値 (χ <sup>2</sup> 検定) | <0.001 | <0.001         | 0.465 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001  | <0.001 |      |

表 6 は老人保健施設退所月の翌月の医療介護サービス及び主な傷病の有病率の状況を医療費の四分位別に見たものである。訪問介護の利用を除いて、いずれも第三四分位よりも大きい区分で割合が高くなっている。なお、傷病の選択は表 3 の重回帰分析の結果に基づいて行った。医療費の高額な区分で、訪問診療の利用割合が 60.1%、医療保険の訪問看護の利用割合が 23.8%とそれ以前の四分位に比べて大きく増加していることが注目される。また、表 3 で医療費に正の関連を示していた傷病のいずれも第三四分位以上で大幅にその有病率が高くなる。

表 7 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた診療区分別の医療費の状況  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分        | 診察料    | 院内処方  | 注射     | 処置     | 検査     | 画像診断   | その他    | 調剤     |
|--------------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 第一四分位まで      | 1,143  | 310   | 55     | 63     | 272    | 100    | 593    | 1,001  |
| (N=311)      | 標準偏差   | 1,234 | 463    | 470    | 1,178  | 536    | 1,200  | 2,187  |
| 第二四分位まで      | 7,020  | 1,153 | 196    | 299    | 2,512  | 769    | 3,003  | 8,584  |
| (N=311)      | 標準偏差   | 3,790 | 786    | 1,105  | 3,957  | 2,377  | 2,800  | 6,381  |
| 第三四分位まで      | 13,646 | 1,251 | 1,045  | 508    | 5,770  | 2,770  | 4,878  | 18,040 |
| (N=312)      | 標準偏差   | 5,243 | 4,423  | 1,361  | 6,895  | 6,199  | 5,159  | 11,755 |
| 第三四分位以上      | 45,240 | 1,287 | 2,716  | 9,186  | 11,359 | 5,292  | 8,309  | 30,781 |
| (N=311)      | 標準偏差   | 7,503 | 11,416 | 50,496 | 23,082 | 10,557 | 10,720 | 29,679 |
| 合計           | 16,752 | 1,000 | 1,003  | 2,511  | 4,977  | 2,232  | 4,195  | 14,599 |
| (N=1,245)    | 標準偏差   | 5,001 | 6,218  | 25,507 | 12,891 | 6,551  | 6,747  | 19,719 |
| p値(一元配置分散分析) | <0.001 | 0.046 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |

表 7 は老人保健施設退所月の翌月における診療区分別(表 1 参照)の医療費の状況を医療費の四分位別に見たものである。院内処方を除いてすべての区分で有意な差が観察された。いずれも第三四分位よりも大きい区分で大幅に医療費が上昇しているが、特に診察料(第 3 四分位まで 13,646 円: 第三四分位以上 45,240 円; 以下同じ)、処置(508 円::9,186 円)、検査(5,770 円:11,359 円)、調剤(18,040 円:30,781 円)。



表 8 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況

(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分        | 112催眠鎮<br>静剤 抗不<br>安剤 | 113抗てん<br>かん剤 | 114解熱鎮<br>痛消炎剤 | 116抗パー<br>キンソン剤 | 117精神神<br>経用剤 | 118総合感<br>冒剤 | 119その他<br>の中樞神<br>経系用薬 | 131眼科用<br>剤 | 211強心剤 | 212不整脈<br>用剤 | 213利尿剤  | 214血圧降<br>下剤 | 216血管収<br>縮剤 | 217血管拡<br>張剤 |
|--------------|-----------------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|--------------|------------------------|-------------|--------|--------------|---------|--------------|--------------|--------------|
| 第一四分位まで      | 平均値<br>24.3           | 14.3          | 8.6            | 12.1            | 42.2          | 0.7          | 48.9                   | 18.9        | 0.0    | 19.0         | 17.1    | 63.9         | 0.0          | 86.5         |
| (N=311)      | 標準偏差<br>122.2         | 106.9         | 57.9           | 161.5           | 316.5         | 9.1          | 540.9                  | 170.8       | 0.0    | 150.6        | 110.5   | 299.8        | 0.0          | 314.2        |
| 第二四分位まで      | 平均値<br>130.0          | 70.3          | 137.9          | 148.3           | 192.2         | 1.0          | 610.9                  | 298.1       | 3.1    | 34.8         | 77.7    | 667.0        | 0.0          | 382.7        |
| (N=311)      | 標準偏差<br>403.6         | 612.7         | 557.5          | 1,025.0         | 839.0         | 10.9         | 2,130.0                | 1,428.9     | 27.8   | 175.5        | 246.1   | 1,430.6      | 0.0          | 701.1        |
| 第三四分位まで      | 平均値<br>130.3          | 85.2          | 475.1          | 281.3           | 316.2         | 1.6          | 2,469.0                | 693.9       | 7.1    | 154.0        | 87.3    | 802.5        | 3.0          | 583.5        |
| (N=312)      | 標準偏差<br>378.9         | 808.2         | 1,458.9        | 2,409.6         | 1,248.4       | 17.5         | 6,124.6                | 2,610.5     | 88.1   | 780.5        | 219.2   | 1,576.6      | 52.5         | 879.5        |
| 第三四分位以上      | 平均値<br>216.7          | 401.5         | 795.1          | 3,575.1         | 648.0         | 1.5          | 3,481.6                | 1,032.6     | 23.7   | 200.5        | 449.4   | 885.6        | 0.0          | 497.7        |
| (N=311)      | 標準偏差<br>567.1         | 2,910.5       | 3,101.8        | 17,997.5        | 3,528.2       | 13.8         | 8,060.0                | 4,175.2     | 195.4  | 1,108.0      | 4,140.2 | 1,801.1      | 0.0          | 879.5        |
| 合計           | 平均値<br>125.4          | 142.7         | 354.1          | 1,002.9         | 299.6         | 1.2          | 1,652.4                | 510.8       | 8.5    | 102.0        | 157.7   | 605.0        | 0.7          | 382.7        |
| (N=1,245)    | 標準偏差<br>406.2         | 1,546.6       | 1,760.6        | 9,196.9         | 1,933.8       | 13.2         | 5,354.3                | 2,590.0     | 108.3  | 690.8        | 2,080.2 | 1,437.3      | 26.3         | 754.1        |
| p値(一元配置分散分析) | <0.001                | 0.007         | <0.001         | <0.001          | 0.001         | 0.806        | <0.001                 | <0.001      | 0.031  | 0.001        | 0.039   | <0.001       | 0.393        | <0.001       |

表 8 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況 (続き 1)

(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分         | 216高脂血症用剤       | 219その他の循環器<br>官用薬 | 222鎮咳剤 | 223去たん<br>剤 | 224鎮咳去<br>たん剤 | 225気管支<br>拡張剤 | 231止しや<br>剤 整腸剤 | 232消化性<br>潰瘍用剤 | 233健胃消<br>化剤 | 234制酸剤 | 235下剤,洗<br>腸剤 | 236利胆剤 | 239その他<br>の消化器<br>官用薬 | 243甲状腺<br>副甲状腺<br>ホルモン剤 |
|---------------|-----------------|-------------------|--------|-------------|---------------|---------------|-----------------|----------------|--------------|--------|---------------|--------|-----------------------|-------------------------|
| 第一四分位まで       | 平均値<br>43.9     | 0.0               | 0.4    | 5.6         | 1.3           | 7.1           | 1.6             | 87.3           | 0.0          | 34.6   | 9.5           | 0.0    | 2.2                   | 4.2                     |
| (N=311)       | 標準偏差<br>327.7   | 0.0               | 6.8    | 98.9        | 22.9          | 125.5         | 26.7            | 442.6          | 0.4          | 145.8  | 57.6          | 0.0    | 32.4                  | 47.5                    |
| 第二四分位まで       | 平均値<br>248.4    | 18.9              | 2.7    | 25.8        | 4.0           | 50.0          | 41.4            | 641.5          | 4.3          | 188.1  | 160.2         | 32.8   | 38.1                  | 11.4                    |
| (N=311)       | 標準偏差<br>858.3   | 159.2             | 27.3   | 152.8       | 49.1          | 436.3         | 171.8           | 1,303.7        | 58.1         | 302.7  | 813.3         | 264.1  | 225.2                 | 75.6                    |
| 第三四分位まで       | 平均値<br>418.0    | 50.8              | 5.0    | 43.9        | 0.0           | 27.9          | 74.0            | 870.3          | 18.3         | 226.7  | 225.1         | 28.9   | 125.9                 | 356.6                   |
| (N=312)       | 標準偏差<br>1,062.4 | 557.3             | 48.0   | 214.0       | 0.0           | 183.5         | 264.4           | 1,419.6        | 144.1        | 347.7  | 989.4         | 194.6  | 1,245.1               | 3,565.5                 |
| 第三四分位以上       | 平均値<br>380.1    | 101.1             | 8.3    | 92.2        | 1.1           | 229.9         | 60.2            | 1,086.8        | 1.4          | 264.0  | 583.1         | 24.4   | 144.3                 | 1,514.6                 |
| (N=311)       | 標準偏差<br>1,328.6 | 739.0             | 64.4   | 373.2       | 14.2          | 1,820.4       | 198.2           | 1,778.1        | 24.5         | 357.8  | 2,739.0       | 288.3  | 649.4                 | 10,781.7                |
| 合計            | 平均値<br>272.7    | 42.7              | 4.1    | 41.9        | 1.6           | 78.7          | 44.3            | 671.6          | 6.0          | 178.4  | 244.4         | 21.5   | 77.6                  | 471.3                   |
| (N=1,245)     | 標準偏差<br>976.5   | 470.5             | 42.6   | 235.4       | 28.0          | 944.9         | 188.5           | 1,379.3        | 78.9         | 312.8  | 1,524.1       | 218.5  | 713.2                 | 5,701.3                 |
| p値 (一元配置分散分析) | <0.001          | 0.041             | 0.119  | <0.001      | 0.336         | 0.012         | <0.001          | <0.001         | 0.014        | <0.001 | <0.001        | 0.235  | 0.035                 | 0.002                   |

表 8 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況 (続き2)  
 (2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分        | 244たん白<br>同化ステロ<br>イド剤 | 245副腎水<br>ルモン剤 | 255痔疾用<br>剤 | 259その他<br>の泌尿生<br>殖器官及<br>び肛門用<br>薬 | 261外用<br>殺菌消毒<br>剤 | 263化膿性<br>疾患用剤 | 264鎮痛鎮<br>痙収斂消<br>炎剤 | 266皮ふ軟<br>化剤(腐<br>しよく剤を<br>含む。) | 269その他<br>の外用<br>薬 | 311ビタミン<br>A及びD剤 | 312ビタミン<br>B1剤 | 313ビタミン<br>B剤(ビタミ<br>ンB1剤を<br>除く。) | 315ビタミン<br>E剤 | 316ビタミン<br>K剤 |
|--------------|------------------------|----------------|-------------|-------------------------------------|--------------------|----------------|----------------------|---------------------------------|--------------------|------------------|----------------|------------------------------------|---------------|---------------|
| 第一四分位まで      | 0.0                    | 1.2            | 0.0         | 26.0                                | 0.0                | 0.0            | 36.4                 | 1.1                             | 0.0                | 43.0             | 0.0            | 1.0                                | 0.0           | 0.0           |
| (N=311)      | 標準偏差                   | 20.5           | 0.0         | 263.8                               | 0.0                | 0.0            | 200.4                | 19.3                            | 0.0                | 466.4            | 0.0            | 17.8                               | 0.0           | 0.0           |
| 第二四分位まで      | 0.0                    | 5.2            | 9.7         | 264.7                               | 0.4                | 3.3            | 244.9                | 3.2                             | 18.8               | 214.8            | 1.6            | 49.6                               | 0.0           | 5.4           |
| (N=311)      | 標準偏差                   | 36.3           | 99.1        | 1,090.4                             | 6.3                | 38.7           | 624.1                | 26.8                            | 173.3              | 930.3            | 27.5           | 256.1                              | 0.0           | 95.1          |
| 第三四分位まで      | 0.0                    | 21.1           | 12.4        | 920.1                               | 0.5                | 16.4           | 346.7                | 24.8                            | 243.8              | 316.3            | 0.0            | 55.5                               | 0.0           | 2.0           |
| (N=312)      | 標準偏差                   | 122.1          | 104.9       | 2,928.2                             | 6.7                | 114.4          | 743.9                | 240.6                           | 2,257.3            | 1,186.8          | 0.0            | 341.9                              | 0.0           | 34.7          |
| 第三四分位以上      | 3.1                    | 20.4           | 39.5        | 904.5                               | 2.3                | 54.4           | 427.8                | 15.4                            | 323.1              | 376.9            | 1.7            | 113.5                              | 1.3           | 4.7           |
| (N=311)      | 標準偏差                   | 114.5          | 337.2       | 3,592.4                             | 34.2               | 597.2          | 920.0                | 112.3                           | 2,688.8            | 1,191.4          | 29.9           | 517.0                              | 22.9          | 83.4          |
| 合計           | 0.8                    | 12.0           | 15.4        | 528.9                               | 0.8                | 18.5           | 264.0                | 11.1                            | 146.4              | 237.8            | 0.8            | 54.9                               | 0.3           | 3.0           |
| (N=1,245)    | 標準偏差                   | 27.1           | 183.6       | 2,413.3                             | 17.7               | 304.8          | 691.2                | 134.0                           | 1,760.7            | 995.8            | 20.3           | 337.4                              | 11.4          | 65.5          |
| p値(一元配置分散分析) | 0.391                  | 0.004          | 0.047       | <0.001                              | <0.001             | 0.100          | <0.001               | 0.093                           | 0.048              | <0.001           | 0.572          | 0.001                              | 0.391         | 0.716         |

表 8 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況 (続き3)

(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分        | 317混合ビ<br>タミン剤(ビ<br>タミンA・D<br>混合製剤を<br>除く。) | 319その他<br>のビタミン<br>剤 | 321カルシ<br>ウム剤 | 322無機質<br>製剤 | 325たん白<br>アミノ酸製<br>剤 | 331血液代<br>用剤 | 332止血剤 | 333血液凝<br>固阻止剤 | 339その他<br>の血液・体<br>液用薬 | 391肝臓疾<br>患用剤 | 394痛風治<br>療剤 | 396糖尿病<br>用剤 | 399他に分<br>類されない<br>代謝性医<br>薬品 | 422代謝拮<br>抗剤 |
|--------------|---|----------------------|---------------|--------------|----------------------|--------------|--------|----------------|------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------------|--------------|
| 第一四分位まで      | 0.0   | 0.0                  | 0.0           | 4.6          | 13.7                 | 0.0          | 0.7    | 17.2           | 32.1                   | 0.0           | 2.7          | 28.7         | 48.9                          | 0.0          |
| (N=311)      | 標準偏差  | 0.0                  | 0.0           | 40.7         | 242.4                | 0.0          | 11.8   | 154.6          | 262.6                  | 0.0           | 28.2         | 274.0        | 441.5                         | 0.0          |
| 第二四分位まで      | 3.1   | 0.2                  | 0.5           | 30.1         | 50.1                 | 6.2          | 0.0    | 221.9          | 475.1                  | 0.0           | 27.7         | 356.9        | 362.0                         | 31.7         |
| (N=311)      | 標準偏差  | 34.6                 | 8.9           | 142.6        | 627.1                | 85.7         | 0.0    | 997.5          | 1,621.1                | 0.0           | 187.6        | 1,405.0      | 1,380.6                       | 559.7        |
| 第三四分位まで      | 7.2   | 0.0                  | 20.9          | 45.6         | 227.5                | 8.1          | 2.1    | 1,315.7        | 596.0                  | 0.0           | 81.9         | 812.4        | 797.6                         | 0.0          |
| (N=312)      | 標準偏差  | 64.7                 | 0.0           | 185.5        | 1,666.5              | 78.4         | 18.7   | 3,994.4        | 1,595.3                | 0.0           | 352.9        | 2,671.5      | 2,231.3                       | 0.0          |
| 第三四分位以上      | 7.4   | 0.0                  | 18.4          | 47.8         | 1,193.8              | 52.3         | 20.0   | 1,838.0        | 1,015.4                | 15.2          | 78.7         | 1,019.8      | 1,900.5                       | 74.3         |
| (N=311)      | 標準偏差  | 78.3                 | 0.0           | 171.3        | 1,765                | 569.3        | 177.6  | 5,187.1        | 2,716.7                | 189.3         | 476.2        | 2,978.2      | 9,562.0                       | 1,311.1      |
| 合計           | 4.4   | 0.1                  | 9.9           | 32.0         | 370.9                | 16.6         | 5.7    | 848.1          | 529.7                  | 3.8           | 47.8         | 554.5        | 776.9                         | 26.5         |
| (N=1,245)    | 標準偏差  | 53.7                 | 2.0           | 140.5        | 2,923.9              | 290.7        | 89.7   | 3,392.6        | 1,808.3                | 94.7          | 312.6        | 2,157.0      | 5,002.6                       | 712.2        |
| p値(一元配置分散分析) | 0.251                                       | 0.393                | 0.113         | 0.001        | <0.001               | 0.095        | 0.014  | <0.001         | <0.001                 | 0.112         | 0.002        | <0.001       | <0.001                        | 0.516        |

表 8 老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況 (続き4)

(2017 年度 要介護 1 以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

| 医療費区分        | 薬剤費の状況      |           |            |                |         |                        |                         |                              |                                     |          |          |           |              |         |
|--------------|-------------|-----------|------------|----------------|---------|------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------------------|----------|----------|-----------|--------------|---------|
|              | 429その他の腫瘍用薬 | 430放射性医薬品 | 441抗ヒスタミン剤 | 449その他のアレルギー用薬 | 520漢方製剤 | 590その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 | 613主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの | 614主としてグラム陽性菌・マイコプラズマに作用するもの | 615主としてグラム陽性・陰性菌・リケッチア・クラミジアに作用するもの | 621サルファ剤 | 624合成抗菌剤 | 625抗ウイルス剤 | 629その他の化学療法剤 | 712軟膏基剤 |
| 第一四分位まで      | 0.0         | 0.0       | 1.0        | 17.5           | 13.4    | 0.0                    | 3.6                     | 0.0                          | 0.0                                 | 0.0      | 3.9      | 9.1       | 0.0          | 0.0     |
| (N=311)      | 0.0         | 0.0       | 17.8       | 196.0          | 154.3   | 0.0                    | 45.3                    | 0.0                          | 0.0                                 | 0.0      | 68.4     | 160.5     | 0.0          | 0.0     |
| 第二四分位まで      | 13.1        | 0.0       | 5.5        | 85.5           | 150.7   | 0.0                    | 12.2                    | 8.9                          | 3.9                                 | 0.0      | 27.4     | 9.8       | 22.4         | 3.4     |
| (N=311)      | 232.1       | 0.0       | 55.0       | 520.3          | 625.8   | 0.0                    | 101.9                   | 94.8                         | 69.7                                | 0.0      | 245.7    | 172.4     | 395.4        | 41.0    |
| 第三四分位まで      | 38.4        | 0.0       | 0.8        | 151.1          | 301.0   | 0.0                    | 47.8                    | 34.0                         | 30.8                                | 32.3     | 32.2     | 91.1      | 317.3        | 6.4     |
| (N=312)      | 677.7       | 0.0       | 12.1       | 777.7          | 884.3   | 0.0                    | 258.4                   | 393.2                        | 520.9                               | 346.8    | 239.7    | 1,033.6   | 1,946.7      | 45.0    |
| 第三四分位以上      | 315.7       | 256.6     | 3.3        | 243.6          | 405.6   | 4.7                    | 70.6                    | 38.9                         | 3.3                                 | 4.5      | 117.0    | 100.2     | 421.8        | 12.6    |
| (N=311)      | 3,100.6     | 3,222.7   | 32.6       | 1,067.1        | 1,445.4 | 82.9                   | 414.6                   | 268.5                        | 42.0                                | 78.8     | 609.2    | 1,250.3   | 2,475.6      | 78.4    |
| 合計           | 91.7        | 64.1      | 2.7        | 124.4          | 217.7   | 1.2                    | 33.5                    | 20.5                         | 9.5                                 | 9.2      | 45.1     | 52.5      | 190.3        | 5.6     |
| (N=1,245)    | 1,593.4     | 1,611.9   | 33.8       | 720.2          | 917.3   | 41.4                   | 251.6                   | 243.1                        | 263.8                               | 178.2    | 353.3    | 819.6     | 1,595.4      | 49.8    |
| p値(一元配置分散分析) | 0.040       | 0.116     | 0.268      | 0.001          | <0.001  | 0.391                  | 0.002                   | 0.129                        | 0.433                               | 0.068    | <0.001   | 0.325     | 0.001        | 0.013   |

表 8 は老人保健施設退所月の翌月における医療費の四分位別にみた薬効 3 桁別にみた薬剤費の状況を支援したものである。500 円以上のものに注目して結果を見ると、114 解熱鎮痛消炎剤、116 抗パーキンソン剤、117 精神神経用剤、119 その他の中枢神経系用薬、131 眼科用薬、214 血圧降下剤、217 血管拡張剤、232 消化性潰瘍用剤、235 下剤浣腸剤、243 甲状腺副甲状腺ホルモン剤、259 その他の非尿生殖器官及び肛門用薬、325 たん白アミノ酸製剤、333 血液凝固阻止剤、339 その他の血液・体液用薬、396 糖尿病用剤、339 他に分類されない代謝性医薬品が第 3 四分位より大きい群で高くなっている。また、標準偏差が大きいため、これらの群の中でのばらつきが大きいこともわかる。

表 9 老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に見た要介護度の分布の状況  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                  | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4  | 要介護5  | 対象者数  |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 訪問診療<br>なし       | 10.4% | 25.8% | 25.9% | 25.7% | 12.1% | 875   |
| あり               | 7.8%  | 22.0% | 25.8% | 28.5% | 16.0% | 400   |
| 合計               | 9.6%  | 24.6% | 25.9% | 26.6% | 13.3% | 1,275 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | 0.109 |       |       |       |       |       |

表 9 は老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に要介護度の分布の状況を見たものである。訪問診療ありの群で若干要介護度が重い傾向があるが、有意差はなかった。

表 10 老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に見た医療介護サービスの利用状況  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                  | 訪問看護・医療 | 訪問介護  | 訪問看護   | 福祉機器  | 通所介護   | 通所リハ   | GH     | 対象者数  |
|------------------|---------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|
| なし               | 8.3%    | 36.8% | 15.3%  | 73.1% | 35.1%  | 40.7%  | 0.2%   | 875   |
| あり               | 21.0%   | 42.8% | 27.3%  | 65.5% | 25.0%  | 24.0%  | 6.8%   | 400   |
| 合計               | 12.3%   | 38.7% | 19.1%  | 70.7% | 31.9%  | 35.5%  | 2.3%   | 1,275 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | <0.001  | 0.047 | <0.001 | 0.006 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |       |

表 10 は老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に医療介護サービスの利用状況を見たものである。医療保険の訪問看護、訪問介護、介護保険の訪問看護、グループホームはあり群で、福祉機器貸与、通所介護、通所リハビリテーションはなし群で有意に利用率が高くなっている。



表 11 老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に見た主な傷病の有病率  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                  | 糖尿病   | 認知症    | 気分障害  | 他神経系疾患 | 眼疾患   | 高血圧性疾患 | 虚血性心疾患 | 対象者数  |
|------------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 訪問診療<br>なし       | 36.1% | 19.0%  | 10.7% | 48.1%  | 20.0% | 67.5%  | 21.7%  | 875   |
| あり               | 33.8% | 37.0%  | 11.5% | 49.0%  | 25.0% | 68.0%  | 16.5%  | 400   |
| 合計               | 35.4% | 24.6%  | 11.0% | 48.4%  | 21.6% | 67.7%  | 20.1%  | 1,275 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | 0.449 | <0.001 | 0.7   | 0.809  | 0.048 | 0.897  | 0.035  |       |

|                  | 心房細動  | 心不全   | 脳血管障害 | 歯周疾患  | 食道・胃および<br>十二指腸の疾患 | 肝疾患   | 皮膚疾患   | 対象者数  |
|------------------|-------|-------|-------|-------|--------------------|-------|--------|-------|
| 訪問診療<br>なし       | 12.6% | 26.6% | 32.5% | 12.5% | 56.8%              | 12.1% | 32.6%  | 875   |
| あり               | 12.0% | 36.0% | 31.8% | 18.0% | 55.3%              | 10.0% | 49.3%  | 400   |
| 合計               | 12.4% | 29.6% | 32.2% | 14.2% | 56.3%              | 11.5% | 37.8%  | 1,275 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | 0.855 | 0.001 | 0.846 | 0.01  | 0.627              | 0.298 | <0.001 |       |

|                  | 下肢関節障害 | 脊椎障害  | 他筋骨格系疾患 | 骨折    | 腎不全   | 尿路感染症 | 肺炎広義  | 悪性腫瘍  | 対象者数  |
|------------------|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 訪問診療<br>なし       | 12.6%  | 20.9% | 39.2%   | 21.1% | 6.7%  | 6.4%  | 4.7%  | 13.7% | 875   |
| あり               | 13.8%  | 14.8% | 37.3%   | 19.5% | 7.8%  | 7.0%  | 6.3%  | 14.8% | 400   |
| 合計               | 12.9%  | 19.0% | 38.6%   | 20.6% | 7.1%  | 6.6%  | 5.2%  | 14.0% | 1,275 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | 0.59   | 0.009 | 0.535   | 0.551 | 0.515 | 0.689 | 0.242 | 0.621 |       |

表 11 は老人保健施設退所月の翌月における訪問診療の有無別に主な傷病の有病率を見たものである。認知症、眼疾患、心不全、歯周疾患、皮膚疾患は訪問診療あり群で、虚血性心疾患、脊椎障害は訪問診療なし群で有意に有病率が高くなっている。

表 12 老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別にみた要介護度の分布の状況

(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                        | 要介護1        | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4  | 要介護5  | 対象者数  |
|------------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| グループホーム                | なし<br>9.5%  | 24.6% | 25.6% | 26.8% | 13.6% | 1,246 |
|                        | あり<br>13.8% | 27.6% | 37.9% | 17.2% | 3.4%  | 29    |
|                        | 合計<br>9.6%  | 24.6% | 25.9% | 26.6% | 13.3% | 1,275 |
| p値 (χ <sup>2</sup> 検定) | 0.242       |       |       |       |       |       |

表 12 は老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別に要介護度の分布の状況を見たものである。利用ありの群で若干要介護度が軽い傾向があるが、有意差はなかった。

表 13 老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別にみた医療介護サービスの利用状況

(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                        | 訪問診療        | 訪問看護_医療 | 訪問介護  | 訪問看護  | 福祉機器  | 対象者数   |
|------------------------|-------------|---------|-------|-------|-------|--------|
| グループホーム                | なし<br>29.9% | 12.6%   | 39.6% | 19.5% | 72.4% | 1,246  |
|                        | あり<br>93.1% | 0.0%    | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 29     |
|                        | 合計<br>31.4% | 12.3%   | 38.7% | 19.1% | 70.7% | 1,275  |
| p値 (χ <sup>2</sup> 検定) | <0.001      |         |       |       |       | <0.001 |

表 13 は老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別に医療介護サービスの利用状況を見たものである。医療保険の訪問看護はあり群で有意に利用率が高くなっている。訪問介護、介護保険の訪問看護、福祉機器はグループホームからの請求に包括されるため、ここでは出していない。

表 14 老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別に見た主な傷病の有病率  
(2017年度 要介護1以上 入院・入所なし、外来受診あり N=1,275)

|                   | 糖尿病   | 認知症    | 気分障害  | 他神経系疾患 | 眼疾患   | 高血圧性疾患 | 虚血性心疾患 | 対象者数  |
|-------------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| グループ<br>ホーム       | なし    | 23.4%  | 11.1% | 48.7%  | 21.7% | 68.1%  | 20.2%  | 1,246 |
|                   | あり    | 75.9%  | 6.9%  | 34.5%  | 13.8% | 48.3%  | 13.8%  | 29    |
|                   | 合計    | 24.6%  | 11.0% | 48.4%  | 21.6% | 67.7%  | 20.1%  | 1,275 |
| p値 ( $\chi^2$ 検定) | 0.201 | <0.001 | 0.477 | 0.129  | 0.303 | 0.024  | 0.393  |       |

|                   | 心房細動  | 心不全   | 脳血管障害 | 歯周疾患  | 食道、胃および<br>十二指腸の疾患 | 肝疾患   | 皮膚疾患  | 対象者数  |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|--------------------|-------|-------|-------|
| グループ<br>ホーム       | なし    | 29.6% | 32.7% | 13.9% | 56.7%              | 11.6% | 37.6% | 1,246 |
|                   | あり    | 27.6% | 13.8% | 27.6% | 37.9%              | 6.9%  | 48.3% | 29    |
|                   | 合計    | 29.6% | 32.2% | 14.2% | 56.3%              | 11.5% | 37.8% | 1,275 |
| p値 ( $\chi^2$ 検定) | 0.735 | 0.818 | 0.032 | 0.037 | 0.043              | 0.436 | 0.239 |       |

|                   | 下肢関節障害 | 脊椎障害  | 他筋骨格系疾患 | 骨折    | 腎不全   | 尿路感染症 | 肺炎広義  | 悪性腫瘍  | 対象者数  |
|-------------------|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| グループ<br>ホーム       | なし     | 13.0% | 19.3%   | 20.9% | 7.1%  | 6.6%  | 5.2%  | 14.3% | 1,246 |
|                   | あり     | 10.3% | 3.4%    | 10.3% | 6.9%  | 6.9%  | 3.4%  | 3.4%  | 29    |
|                   | 合計     | 12.9% | 19.0%   | 20.6% | 7.1%  | 6.6%  | 5.2%  | 14.0% | 1,275 |
| p値 ( $\chi^2$ 検定) | 0.673  | 0.031 | 0.002   | 0.166 | 0.972 | 0.946 | 0.671 | 0.097 |       |

表 14 は老人保健施設退所月の翌月におけるグループホーム利用の有無別に主な傷病の有病率を見たものである。認知症、歯周疾患はグループホーム利用群で有意に有病率が高くなっている。他方、脳血管障害、食道、胃及び十二指腸の疾患、脊椎障害、他筋骨格系疾患は訪問診療なし群で有意に有病率が高くなっている。

(2) 所定疾患療養費の算定状況の分析

表 15 年齢階級別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| 年齢階級                  | 肺炎    | 尿路感染症 | 合計     |
|-----------------------|-------|-------|--------|
| 40-64歳                | 5.0%  | 7.3%  | 219    |
| 65-74歳                | 4.8%  | 7.4%  | 947    |
| 75-84歳                | 5.9%  | 8.0%  | 3,899  |
| 85歳以上                 | 6.6%  | 9.0%  | 8,336  |
| 全体                    | 6.2%  | 8.6%  | 13,401 |
| p値(χ <sup>2</sup> 検定) | 0.089 | 0.105 |        |

表 15 は 2017 年度に老人保健施設に入所者した 13,401 人における所定疾患療養費の算定状況を原因疾患別に見たものである。なお、带状疱疹が 2 名いたが、症例数が少ないため分析からは除外している。肺炎、尿路感染症ともに年齢階級が高くなるにつれて算定率が高くなるが、有意差はなかった。

表 16 要介護度別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| 要介護度                  | 肺炎     | 尿路感染症  | 合計     |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 要介護1                  | 2.1%   | 2.9%   | 380    |
| 要介護2                  | 3.6%   | 4.5%   | 1,611  |
| 要介護3                  | 4.4%   | 6.2%   | 2,819  |
| 要介護4                  | 6.2%   | 8.5%   | 4,657  |
| 要介護5                  | 8.9%   | 12.5%  | 3,934  |
| 全体                    | 6.2%   | 8.6%   | 13,401 |
| p値(χ <sup>2</sup> 検定) | <0.001 | <0.001 |        |

表 16 は 2017 年度に老人保健施設に入所者した 13,401 人における所定疾患療養費の算定状況を要介護度別に見たものである。なお、带状疱疹が 2 名いたが、症例数が少ないため分析からは除外している。肺炎、尿路感染症ともに要介護度が高くなるにつれて有意に算定率が高くなっていた(ともに  $p < 0.001$ ,  $\chi^2$  検定)。特に尿路感染症は、要介護 5 で 12.5%と高い値になっていることが注目された。

表 17 性別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| 性別               | 肺炎     | 尿路感染症 | 合計     |
|------------------|--------|-------|--------|
| 男性               | 8.5%   | 8.4%  | 4,320  |
| 女性               | 5.1%   | 8.7%  | 9,081  |
| 全体               | 6.2%   | 8.6%  | 13,401 |
| p値( $\chi^2$ 検定) | <0.001 | 0.574 |        |

表 17 は 2017 年度に老人保健施設に入所者した 13,401 人における所定疾患療養費の算定状況を性別に見たものである。なお、带状疱疹が 2 名いたが、症例数が少ないため分析からは除外している。尿路感染症では有意な性差は観察されなかったが、肺炎については男性が女性よりも有意に算定率が高くなっている。(p<0.001,  $\chi^2$  検定)

表 18 分析対象の自治体に所在する老人保健施設における入所者の所定疾患療養費対象患者の割合と平均入所日数(全数)、入所者における要介護4以上の割合  
(利用者40人以上施設のみ、2017年度)

| 事業所 NO | 入所者数<br>(全利用者) | 所定疾患療養<br>費算定あり | 平均入所日数<br>(全利用者) | 要介護4以上<br>(全利用者) |
|--------|----------------|-----------------|------------------|------------------|
| 1      | 274            | 58.8%           | 221.2            | 62.4%            |
| 2      | 130            | 34.6%           | 269.9            | 55.4%            |
| 3      | 189            | 32.3%           | 204.0            | 52.9%            |
| 4      | 210            | 28.6%           | 172.8            | 51.4%            |
| 5      | 179            | 28.5%           | 187.1            | 53.6%            |
| 6      | 179            | 27.4%           | 213.1            | 42.5%            |
| 7      | 85             | 27.1%           | 187.3            | 57.6%            |
| 8      | 202            | 26.7%           | 183.8            | 53.0%            |
| 9      | 105            | 26.7%           | 207.9            | 45.7%            |
| 10     | 150            | 26.0%           | 225.4            | 54.7%            |
| 11     | 154            | 24.7%           | 188.3            | 59.1%            |
| 12     | 215            | 24.2%           | 245.7            | 54.0%            |
| 13     | 201            | 23.9%           | 212.8            | 52.2%            |
| 14     | 173            | 23.7%           | 180.1            | 64.2%            |
| 15     | 176            | 23.3%           | 179.1            | 54.0%            |
| 16     | 148            | 21.6%           | 222.9            | 50.7%            |
| 17     | 116            | 21.6%           | 241.8            | 61.2%            |
| 18     | 224            | 21.4%           | 239.3            | 63.4%            |
| 19     | 58             | 20.7%           | 229.2            | 41.4%            |
| 20     | 151            | 20.5%           | 164.5            | 47.7%            |
| 21     | 205            | 20.5%           | 163.3            | 57.1%            |
| 22     | 185            | 20.0%           | 168.1            | 47.6%            |
| 23     | 121            | 19.0%           | 192.0            | 51.2%            |
| 24     | 302            | 18.9%           | 161.2            | 58.9%            |
| 25     | 203            | 18.2%           | 232.9            | 48.8%            |
| 26     | 215            | 18.1%           | 183.2            | 54.4%            |
| 27     | 167            | 18.0%           | 214.1            | 51.5%            |
| 28     | 190            | 17.4%           | 201.1            | 50.0%            |
| 29     | 103            | 16.5%           | 258.7            | 43.7%            |
| 30     | 170            | 16.5%           | 232.1            | 51.2%            |



|    |     |       |       |       |
|----|-----|-------|-------|-------|
| 31 | 111 | 16.2% | 253.7 | 55.9% |
| 32 | 138 | 15.9% | 215.0 | 43.5% |
| 33 | 159 | 15.1% | 196.0 | 46.5% |
| 34 | 157 | 14.6% | 263.7 | 57.3% |
| 35 | 187 | 14.4% | 231.1 | 53.5% |
| 36 | 120 | 14.2% | 221.4 | 64.2% |
| 37 | 148 | 13.5% | 195.5 | 45.3% |
| 38 | 100 | 13.0% | 237.5 | 75.0% |
| 39 | 224 | 12.9% | 163.4 | 54.5% |
| 40 | 132 | 12.9% | 243.2 | 66.7% |
| 41 | 165 | 12.7% | 179.4 | 46.1% |
| 42 | 118 | 12.7% | 206.9 | 46.6% |
| 43 | 135 | 12.6% | 221.2 | 55.6% |
| 44 | 208 | 12.5% | 143.7 | 53.8% |
| 45 | 221 | 12.2% | 161.9 | 48.9% |
| 46 | 170 | 11.8% | 233.2 | 54.7% |
| 47 | 109 | 11.0% | 227.7 | 73.4% |
| 48 | 156 | 10.9% | 180.8 | 51.3% |
| 49 | 85  | 10.6% | 249.5 | 58.8% |
| 50 | 257 | 9.3%  | 187.2 | 52.1% |
| 51 | 251 | 9.2%  | 184.5 | 60.2% |
| 52 | 192 | 8.9%  | 151.2 | 59.4% |
| 53 | 125 | 8.8%  | 251.7 | 47.2% |
| 54 | 206 | 8.7%  | 219.1 | 59.2% |
| 55 | 115 | 8.7%  | 218.2 | 60.0% |
| 56 | 205 | 8.3%  | 170.3 | 58.5% |
| 57 | 109 | 8.3%  | 238.0 | 44.0% |
| 58 | 163 | 8.0%  | 198.9 | 52.1% |
| 59 | 208 | 7.7%  | 183.5 | 59.1% |
| 60 | 108 | 7.4%  | 130.3 | 53.7% |
| 61 | 151 | 7.3%  | 160.6 | 60.3% |
| 62 | 228 | 7.0%  | 189.3 | 51.3% |
| 63 | 131 | 6.9%  | 292.3 | 50.4% |
| 64 | 93  | 6.5%  | 162.9 | 53.8% |
| 65 | 141 | 6.4%  | 242.0 | 41.1% |
| 66 | 48  | 6.3%  | 136.9 | 37.5% |

|    |     |      |       |       |
|----|-----|------|-------|-------|
| 67 | 308 | 5.8% | 146.4 | 60.1% |
| 68 | 111 | 4.5% | 219.4 | 39.6% |
| 69 | 245 | 4.5% | 151.0 | 60.8% |
| 70 | 48  | 4.2% | 159.6 | 47.9% |
| 71 | 118 | 3.4% | 252.6 | 33.9% |
| 72 | 151 | 2.6% | 159.7 | 53.0% |
| 73 | 138 | 2.2% | 214.9 | 55.1% |
| 74 | 61  | 1.6% | 124.6 | 45.9% |
| 75 | 101 | 1.0% | 254.6 | 51.5% |
| 76 | 128 | 0.8% | 250.8 | 47.7% |
| 77 | 47  | 0.0% | 219.7 | 44.7% |
| 78 | 102 | 0.0% | 178.1 | 43.1% |
| 79 | 119 | 0.0% | 236.8 | 42.9% |
| 80 | 192 | 0.0% | 194.9 | 49.5% |
| 81 | 257 | 0.0% | 148.2 | 53.3% |
| 82 | 137 | 0.0% | 202.6 | 53.3% |
| 83 | 128 | 0.0% | 238.3 | 49.2% |
| 84 | 150 | 0.0% | 214.9 | 35.3% |
| 85 | 101 | 0.0% | 230.6 | 65.3% |

表 18 は分析対象の自治体に所在する老人保健施設における入所者の所定疾患療養費対象患者の割合と平均入所日数(全数)、入所者における要介護 4 以上の割合を見たものである。なお、分析は 2017 年度に 40 人以上の利用者があった施設のみを対象とした。所定疾患療養費算定ありの多い順に示している。最も算定率の高い施設は 58.8%で、入所者数が 274 名、平均入所日数が 221.2 日、要介護 4 以上の割合が 62.4%と、要介護度の高い高齢者を多く見ているという特徴がある。

表 19 表 18 の変数間の相関係数  
(利用者 40 人以上施設のみ、2017 年度)

|                |          | 利用者数   | 所定<br>疾患率 | 平均<br>在所日数 | 要介護 4<br>以上割合 |
|----------------|----------|--------|-----------|------------|---------------|
| 利用者数           | 相関係数     | 1      | 0.273     | -0.290     | 0.279         |
|                | p 値 (両側) |        | 0.011     | 0.007      | 0.010         |
| 所定疾患率          | 相関係数     | 0.273  | 1         | 0.094      | 0.209         |
|                | p 値 (両側) | .011   |           | 0.392      | 0.055         |
| 平均在所日数         | 相関係数     | -0.290 | 0.094     | 1          | -0.16         |
|                | p 値 (両側) | 0.007  | 0.392     |            | 0.884         |
| 要介護 4 以上<br>割合 | 相関係数     | 0.279  | 0.209     | -0.016     | 1             |
|                | p 値 (両側) | 0.010  | 0.055     | 0.884      |               |

表 19 は表 18 で示した変数間の相関係数を見たものである。所定疾患の算定率は利用者数と有意の正相関を示し( $r=0.273$ ,  $p=0.011$ )、要介護 4 以上の割合とも有意ではないが正の相関を示している( $r=0.209$ ,  $p=0.055$ )。また、利用者数の多い施設は平均在所日数と有意の負の相関( $r=-0.290$ ,  $p=0.007$ )、要介護 4 以上割合と有意の正相関( $r=0.279$ ,  $p=0.010$ )を示していた。

表 20 主な傷病の有無別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

|        |    | 肺炎   |        | 尿路感染症 |        | 人数     |
|--------|----|------|--------|-------|--------|--------|
|        |    | あり   | p 値    | あり    | p 値    |        |
| 糖尿病    | なし | 6.9% |        | 9.1%  |        | 5,066  |
|        | あり | 5.8% | 0.015  | 8.3%  | 0.098  | 8,335  |
| 他神経系疾患 | なし | 7.4% |        | 8.6%  |        | 5,160  |
|        | あり | 5.5% | <0.001 | 8.6%  | 1.000  | 8,241  |
| 歯周疾患   | なし | 6.9% |        | 8.1%  |        | 5,255  |
|        | あり | 5.8% | 0.014  | 8.9%  | 0.122  | 8,146  |
| 腎不全    | なし | 6.4% |        | 8.2%  |        | 10,483 |
|        | あり | 5.4% | 0.047  | 9.9%  | 0.005  | 2,918  |
| 心不全    | なし | 6.4% |        | 8.9%  |        | 6,298  |
|        | あり | 6.1% | 0.519  | 8.3%  | 0.205  | 7,103  |
| 認知症    | なし | 6.4% |        | 8.0%  |        | 7,138  |
|        | あり | 6.0% | 0.298  | 9.3%  | 0.009  | 6,263  |
| 悪性腫瘍   | なし | 6.6% |        | 8.3%  |        | 7,267  |
|        | あり | 5.7% | 0.024  | 8.9%  | 0.183  | 6,134  |
| 脳血管障害  | なし | 6.3% |        | 8.3%  |        | 5,514  |
|        | あり | 6.1% | 0.586  | 8.8%  | 0.259  | 7,887  |
| 貧血     | なし | 6.7% |        | 8.5%  |        | 7,976  |
|        | あり | 5.4% | 0.003  | 8.6%  | 0.827  | 5,425  |
| 死亡     | なし | 6.2% |        | 7.7%  |        | 7,686  |
|        | あり | 6.2% | 0.856  | 9.8%  | <0.001 | 5,715  |

表 20 は老人保健施設入所前後の医科レセプトで把握した主な傷病の有無別に所定疾患療養費の算定状況を肺炎と尿路感染症に分けてみたものである。肺炎は糖尿病(なし 6.9%: あり 5.8%)、他神経系疾患(なし 7.4%: あり 5.5%)、歯周疾患(なし 6.9%: あり 5.8%)、腎不全(なし 6.4%: あり 5.4%)、悪性腫瘍(なし 6.6%: あり 5.7%)、貧血(なし 6.7%: あり 5.4%)といずれもこれらの傷病のない群で有病率が 5%水準で有意に高くなっていた。他方、尿路感染症は腎不全(なし 8.2%: あり 9.9%)、認知症(なし 8.0%: あり 9.3%)、といずれもこれらの傷病のある群で有病率が 5%水準で有意に高くなっていた。また、退所後の死亡は尿路感染症のあり群で有意に高くなっていた(なし 7.7%: あり 9.8%;  $p<0.001$ )。

表 21 施設類型別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| 施設類型                   | 肺炎    | 尿路感染症 | 人数     |
|------------------------|-------|-------|--------|
| 1.療養強化型                | 10.0% | 30.0% | 10     |
| 2.従来型                  | 6.2%  | 8.5%  | 10,699 |
| 3.在宅強化型                | 6.4%  | 8.8%  | 2,685  |
| 4.療養型                  | 0.0%  | 0.0%  | 7      |
| 合計                     | 6.2%  | 8.6%  | 13,401 |
| p 値(χ <sup>2</sup> 検定) | 0.836 | 0.084 |        |

表 21 は老人保健施設の施設類型別に入所者の所定疾患療養費の算定状況をみたものである。療養強化型の入所者で尿路感染症による算定が高い傾向があるが、対象者数が少ないため、統計学的に有意ではなかった。従来型と在宅強化型では肺炎、尿路感染症ともに差はない。

表 22 部屋の類型別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| 部屋類型                   | 肺炎    | 尿路感染症 | 人数     |
|------------------------|-------|-------|--------|
| 1.個室                   | 6.7%  | 8.7%  | 3,005  |
| 2.準個室                  | 5.7%  | 8.0%  | 175    |
| 3.多床室                  | 6.1%  | 8.6%  | 10,221 |
| 合計                     | 6.2%  | 8.6%  | 13,401 |
| p 値(χ <sup>2</sup> 検定) | 0.408 | 0.941 |        |

表 22 は対象者が利用した部屋の類型別に入所者の所定疾患療養費の算定状況をみたものである。個室、準個室、多床室の 3 種類間で有意な差は観察されなかった。

表 23 ユニット型か否か別にみた老人保健施設入所者における所定疾患療養費の算定状況  
(2017 年度 N=13,401)

| ユニット型              | 肺炎    | 尿路感染症 | 人数     |
|--------------------|-------|-------|--------|
| ユニット型以外            | 6.1%  | 8.7%  | 11,437 |
| ユニット型              | 6.6%  | 7.8%  | 1,964  |
| 合計                 | 6.2%  | 8.6%  | 13,401 |
| p 値 ( $\chi^2$ 検定) | 0.480 | 0.223 |        |

表 23 は対象者がユニット型の居室に入所したか否か別に所定疾患療養費の算定状況をみたものである。ユニット型以外の入所者で尿路感染症による算定が高い傾向があるが、統計学的に有意ではなかった。



#### D. 考察

本分析では老人保健施設後の要介護高齢者の傷病及び医療介護サービス利用の状況を検討することで、慢性期にある要介護高齢者の医療ニーズの把握を試みた。その結果、訪問診療と医療保険による訪問看護が入る病態で医療費が多くかかっていることが明らかとなった。訪問看護については、要介護認定を受けている者は介護保険による訪問看護が優先される原則になっているが、厚生労働省が定める特掲診療料の施設基準等別表第7号に掲げる疾病等(末期の悪性腫瘍、多発性硬化症、重症筋無力症、スモン、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン病、進行性筋ジストロフィー症、パーキンソン病関連疾患、多系統萎縮症、プリオン病、亜急性硬化性全脳炎、ライソゾーム病、副腎白質ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、後天性免疫不全症候群、頸髄損傷、人工呼吸器を使用している状態)については医療保険による訪問看護が優先される。表3の分析結果で他神経系疾患と他筋骨格系疾患が医療費に有意の正の回帰係数を示していた結果はこの特掲診療用の定義と整合的である。表9の薬効別医薬品使用額の分析でも116抗パーキンソン剤、119その他の中枢神経系用薬が、医療費の高い四分位で多く使われていることも整合的である。これらの傷病の医薬品は高額なものが多く、また継続して使用しなければならないため、介護施設における治療に当たっては、介護保険の支払いとは別途考えるべきであろう。

また、心房細動も医療費に有意に関連していたが、薬効別医薬品使用額の分析では心房細動患者における脳梗塞などの発症を予防する効果のある333血液凝固阻止剤の使用が医療費の高い四分位で多く使われていた。近年、心房細動に対する抗不整脈薬の開発が進んでおり、しかもこれらは高額なものが多い。令和2年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)「介護老人保健施設における薬物治療の考え方に関する調査研究事業」報告書(公益社団法人全国老人保健施設協会)では、NOAC/DOAC(イグザレルト®、エリキュース®、リクシアナ®等)について「処方する薬剤」と回答したのが49.5%(540件)で約半数、「施設では採用はしている(取り扱える)が処方なるべく避けている薬剤」と回答したのが29.4%(321件)であり、この研究ではもっとも使用が避けられている医薬品であった。そして、避けている理由としては「価格が高い」が90.3%(290件)であった。心房細動による脳塞栓は病態が重く、医療コスト及びその後の介護ケアのコストの面でも大きな問題となる。医療介護のトータルのコストへの効果に関する費用対効果分析などを行い、その介護報酬における取扱い方針について改めて検討すべきであろう。

有病率をみると糖尿病(全体で35.4%;以下同じ)、高血圧性疾患(67.7%)、食道、胃および十二指腸の疾患(56.3%)の罹患率が高く、これに対応して396糖尿病用剤、339他に分類されない代謝性医薬品、214血圧降下剤、217血管拡張剤、232消化性潰瘍用剤が医療費として相対的に高くなっている。これらの医薬品については、厚生労働省の高齢者医薬品適正使用検討会における多剤投与の議論で対象となったものであり、「高齢者の医薬品適正使用ガイドライン」において使用にあたっての留意点が示されている。上述の全国老人保健施設協会の報告書では、糖尿病薬については血液検査の結果、降圧薬については血圧の測定結果に基づいて、適宜減薬や医薬

品の変更が行われていることが記述されている。この際、患者や患者家族への説明が課題となることがあることが報告されている。老人保健施設に入所する高齢者の多くが、上記の生活習慣病については長い治療歴があると想定されることから、入所前からお薬手帳などを活用した薬剤師による服薬指導を十分に行い、患者及び家族の薬物治療に対する理解を十分に高めておくことが、老人保健施設における医薬品の適正使用のための前提条件となる。このような環境が整えば、生活習慣病の管理における医薬品の使用については、現在の介護報酬の中で十分対応かのようなものであると考える。

なお、薬効別の医薬品費の分析では感染症に使用する抗菌薬等の影響は、大きいものではなかった。有病率も勘案すると、現行の所定疾患療養費制度で対応できていると考えられる。

所定疾患療養費の算定状況の分析では、要介護度がその算定に有意に関連していた。その算定状況には事業所による大きな差があり、医療ニーズへの対応力に施設間で大きな差があることを示唆している。算定率の高い施設は利用者数が多く、そして利用者数の多い施設では平均在所日数が短くなっていた。すなわち、回転率の高い施設ほど所定疾患の算定率が高くなっているが、算定対象となった高齢者がそのごどのようなサービスを医療しているかについては別途けんとうが必要である。所定疾患療養費の算定対象となっている者の割合が要介護度の高い群でおおいことを踏まえると、算定率の高い施設は、そこで当該高齢者の所定疾患の治療を行うため、所定疾患に罹患した患者を転院させる施設に比較して平均在所日数が長いことを当初仮定したが、分析結果は逆の結果であった。施設類型(療養強化型、従来型、在宅強化型、療養型)では算定率に有意な差は観察されていない。令和 2(2020)年から流行が続いている新型コロナウイルス感染症においては、高齢者施設におけるクラスターが大きな問題となっている。感染の広がりを踏まえて、多くの地域で、中等症までの要介護高齢者を介護施設で治療する事例が増加している。一般救急とのバランスを図るためにも、こうした傷病への対応力を持つことを介護施設も求められていると考える。また、いくつかの施設では、重症化した際の対応をどうするかという ACP 的な取り組みも行っている。所定疾患療養費の今後の在り方を考える上で、今回の新型コロナウイルス感染症の流行は一つの重要な契機になっている。今後、調査票やヒアリングによる詳細な分析が必要であると考えられる。

## E. 結論

本分析では老人保健施設後の要介護高齢者の傷病及び医療介護サービス利用の状況を検討することで、慢性期にある要介護高齢者の医療ニーズの把握を試みた。その結果、訪問診療と医療保険による訪問看護が入る病態で医療費が多くかかっていることが明らかとなった。なかでも厚生労働省が定める特掲診療料の施設基準等別表第 7 号に掲げる疾病等については、医薬品費も高額になることから、老人保健施設における医療ニーズ対応に関して別途配慮がある疾患であると考えられた。

また、NOAC/DOACのような心房細動における脳梗塞予防に使われる薬についても検討が必要である。

さらに、新型コロナ感染の流行により、高齢者施設における医療対応力の強化が課題となっている。この要望に応えるためにも、所定疾患療養費の今後の在り方について改めて検討が必要であるとする。

F. 健康危険情報 なし

G. 知的財産権の出願 なし

H. 利益相反 なし

I. 研究発表 なし

## 2. 慢性期における医療ニーズ調査票の設計

高齢化の進展は医療と介護とのニーズを複合化させる。そのため、介護現場では脳血管障害、認知症、筋骨格系疾患という要介護状態の原因となる三大疾患以外の傷病への対応、具体的には糖尿病、慢性心不全やがんといった多様な疾患への対応が必要となっている。それだけでなく、入所中には肺炎や尿路感染症といった感染症を発症することがある。わが国の介護保険法は、要介護者が「尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むこと」をその目的としている。要介護 1 以上の要介護高齢者を対象とした我々のこれまでの研究結果では、肺炎や尿路感染症、心不全の増悪、再梗塞といった急性期のイベントが要介護度を悪化させる要因として重要なことが明らかとなっている。また、本研究事業における医療介護レセプトを連結して分析した結果では、こうした医療ニーズの存在が、医療費や介護給付費の増加につながっていることが示唆されている。したがって、介護保険法の目的である自立支援のためには、複数の慢性疾患を持った要介護高齢者に対して上記の医学的イベントを起こさないような予防的ケアマネジメントが必要となる。また、今回の新型コロナウイルス感染症流行における高齢者施設の状況を踏まえれば、施設における医学的な感染予防体制や感染症対応が適切に行われるような仕組みとその経済的評価が必要となる。

現状の介護老人保健施設や介護医療院(以下、老健等)における医療の評価は、喀痰吸引や経管栄養の実施人数が主な評価項目である。上記の問題意識のように喀痰吸引や経管栄養以外で医療ニーズを適切に評価することで介護老人保健施設や介護医療院における適切な受入につながる。

他方、現在、我が国では科学的介護の実践を目指して LIFE(科学的介護情報システム:Long-term care Information system For Evidence)事業が行われている。上記施設における医療ニーズを把握する試みは、LIFE と連動して、質の高い介護の実践を促進するものでなければならない。したがって、介護老人保健施設や介護医療院における医療ニーズを把握する調査票は LIFE 事業で収集している情報と組み合わせて分析されることで、科学的介護の実践に資するものでなければならない。しかし、その多くが 80 歳台後半である要介護高齢者について、単純に死亡しないこと、要介護度が悪化しないことをアウトカムに設定してしまうと、そのようなリスクの高い高齢者の受け入れが阻害されてしまう危険性がある。したがって、医療ニーズの評価指標としては、リスクを調整したものが望ましい。

先行研究において我々は主治医意見書に記載されている情報、特に「4. 生活機能とサービスに対する意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」にある項目をアウトカム指標として、その発生の予測式を用いて、施設単位での発生期待数(Expected)を計算し、この値で実際の発生数(Observed)を除いた O/E 比で、施設評価を行う仕組みを提案した<sup>1)</sup>。以下、その概要を説明する。

主治医意見書に記載のある「今後発生が予想される病態」とした。その上で主治医意見書及び認定調査票に記載のある傷病名、現在行われている特別な医療、要介護度、年齢(60 歳未満、60-69 才、70-79 才、80-89 才、90 歳以上)、NYHA 分類、Hugh-Jones 分類と「今後発生が予

想される病態」との関連を検討した( $\chi^2$  検定及び正確確率)(変数の詳細は付録 1 を参照)。症例数が少ないため有意確率 10%未満のものを関連する指標と考え、「今後発生が予想される病態」ごとに関連要因を整理した。なお、傷病名については平成28年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業「慢性期医療における DPC 分類の活用に関する研究事業」で開発した慢性期 DPC(CDPC)の上 4 桁(病名に相当)を用いている(CDPCについては付録 2 を参照)。

表 24 は個別変数の分析結果をまとめたものである。主治医意見書で把握されている各「今後起こる可能性のある病態」に関連する医療行為及び傷病名を整理している。症例数が少ないため有意確率 0.10 未満のものを示している。なお、傷病名については平成28年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業「慢性期医療における DPC 分類の活用に関する研究事業」で開発した慢性期 DPC(CDPC)の上 4 桁(病名に相当)を用いている(CDPCについては付録 2 を参照)。

「今後発生が予想される病態」の各項目について、表 24 で関連があると評価された要因を変数として「今後発生が予想される病態」の発生を症例ごとに判別分析(stepwise 法)によって予想した。その上で観察された「今後発生が予想される病態」との比(O/E 比)を施設単位で求め、質指標として可視化することを試みた。表 25 は「今後発生が考えられる病態」の施設別の O/E 比を示したものである。このように整理することで図 1 から図 14 のように各評価横目の施設別の比較、あるいは各施設の評価項目の概要を可視化することが可能となる。

表 24 今後発生が考えられる病態と関連する要因の分析結果のまとめ

|             | 5種   | 血糖   | 肺脈注射 | 中心静脈<br>栄養 | 透析   | ストーマ | 酸素療法 | レスピレー<br>ター | 昇圧剤の<br>投与 | 心マッ<br>サージ | 手術   | モニター測<br>定 | 喀痰吸引 | ネブライ<br>ザー | 胃腸等  | 輸血   | インフルエ<br>ンザ | 肺炎球菌 | 要介護度<br>CD | NYHA心<br>機能分類 | HughJon<br>es分類 | 年齢階層 |    |
|-------------|------|------|------|------------|------|------|------|-------------|------------|------------|------|------------|------|------------|------|------|-------------|------|------------|---------------|-----------------|------|----|
| 今後 がん等による疼痛 |      |      |      |            |      |      |      |             |            |            |      |            |      |            |      |      |             |      |            |               |                 |      |    |
| 今後 その他      |      |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            |      |            | **   | **         | **   |      |             |      | **         | +             | **              |      | *  |
| 今後 低栄養      | +    |      | *    |            |      |      | +    |             | +          |            |      |            | *    | **         | **   |      |             |      | **         |               | **              |      |    |
| 今後 尿失禁      |      |      |      |            |      |      |      |             | *          |            |      |            | **   | **         | **   |      |             |      | **         |               | **              |      | +  |
| 今後 徘徊       |      |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             | +    | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 心肺機能の低下  | **   |      | **   |            |      |      |      |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 意識低下     |      |      |      |            |      |      |      |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 摂食嚥下機能低下 |      |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 易感染性     |      |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 発熱       |      |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | ** |
| 今後 移動能力の低下  | **   |      | **   |            |      |      | +    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | *  |
| 今後 脱水       |      |      | **   |            |      |      | +    |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | *  |
| 今後 褥瘡       | **   |      | *    |            |      |      |      |             | *          |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | *  |
| 今後 転倒骨折     | **   |      | *    |            |      |      |      |             | **         |            |      |            | **   | **         | *    |      |             |      | **         | *             | **              |      | *  |
| 今後 閉じこもり    | **   |      | **   |            |      |      |      |             | +          |            |      |            | **   | **         | +    |      |             | *    |            |               | **              |      | ** |
| 今後 がん等による疼痛 | CG01 | CF01 | CG01 | CG02       | CH01 | CI01 | CI02 | CI03        | CI04       | CI05       | CJ01 | CJ02       | CJ04 | CK01       | CK02 | CM01 | CM02        | CM04 | CN01       | CN03          | CS01            |      |    |
| 今後 その他      |      |      | **   |            |      |      |      |             |            |            | *    | **         |      | +          |      |      |             | +    |            |               | **              |      | ** |
| 今後 低栄養      | *    |      | **   |            |      |      | *    |             | *          |            | *    | *          |      | +          |      |      |             |      |            |               |                 |      | ** |
| 今後 尿失禁      |      |      | **   |            |      |      |      |             | *          |            | *    | *          |      |            |      |      |             |      |            |               |                 |      | +  |
| 今後 徘徊       | *    |      | **   |            |      | **   | **   | **          | *          |            | *    | *          | *    |            |      |      |             |      | *          |               | *               |      | +  |
| 今後 心肺機能の低下  |      |      | **   |            |      | +    | *    | **          | *          |            | *    | +          | *    | **         |      | +    | +           |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 意識低下     |      |      | **   |            | +    | *    | *    | *           | *          |            | *    | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 摂食嚥下機能低下 |      |      | **   |            |      |      | +    |             | *          |            | +    | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 易感染性     | *    |      | *    |            |      |      | *    |             | *          |            | *    | +          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 発熱       | **   |      | **   |            |      |      | +    |             | *          |            | +    | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 移動能力の低下  | *    |      | *    |            |      | +    | *    |             | +          |            | +    | +          | *    | **         |      |      |             | *    |            | *             | *               |      | *  |
| 今後 脱水       | *    |      | *    |            | +    | +    | *    | +           | *          |            | +    | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 褥瘡       |      |      | **   |            |      | **   | *    | *           | *          |            | +    | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 転倒骨折     |      | *    | *    |            |      | **   | *    | *           | *          |            |      | *          | *    | **         |      |      | +           |      | *          |               | *               |      | *  |
| 今後 閉じこもり    |      |      | **   |            |      | **   | *    | *           | *          |            |      | *          | *    | **         |      |      |             |      | *          |               | *               |      | *  |

\*\*\*: p<0.01, \*: p<0.05, +: p<0.10 (χ検定あるいは正確率)



表 25「今後発生が考えられる病態」の施設別の O/E 比

| 施設連番 | 褥瘡   | 転倒骨折 | 低栄養  | 尿失禁   | 徘徊   | 心肺機能の低下 | 意欲低下 | 摂食嚥下機能低下 | 発熱   | 移動能力の低下 | 脱水   | 閉じこもり | 易感染性 |
|------|------|------|------|-------|------|---------|------|----------|------|---------|------|-------|------|
| 1    | 1.60 | 0.88 | 0.67 | 2.83  | 0.36 | 1.00    | 1.33 | 1.00     | 1.00 | 1.71    | 0.75 | 0.50  | 1.67 |
| 2    | 1.11 | 1.33 | 1.08 | 1.73  | 0.55 | 1.89    | 1.36 | 2.14     | 1.55 | 1.54    | 1.75 | 0.57  | 2.00 |
| 3    | 3.00 | 0.76 | 1.54 | 1.82  |      | 2.50    | 1.67 |          | 2.11 | 1.25    | 1.82 |       | 5.00 |
| 4    | 1.57 | 1.30 | 0.91 | 1.09  | 0.40 | 1.10    | 0.75 | 1.40     | 1.57 | 1.44    | 0.90 | 0.00  | 0.67 |
| 5    | 0.75 | 0.53 | 0.17 | 3.17  | 0.50 | 2.00    | 0.80 | 0.55     | 0.63 | 1.80    | 0.00 | 0.00  |      |
| 6    | 1.33 | 1.33 | 1.25 | 2.22  |      | 1.11    | 2.00 | 1.00     | 1.43 | 1.27    | 1.54 | 1.00  | 2.22 |
| 7    | 1.00 | 0.89 | 0.57 | 2.14  | 0.33 | 0.25    | 5.33 | 0.75     | 0.00 | 0.83    | 2.14 | 5.00  |      |
| 8    | 0.33 | 1.07 | 1.63 | 2.50  | 0.75 | 1.17    | 1.33 | 2.00     | 1.64 | 1.46    | 1.18 | 0.25  | 1.20 |
| 9    | 0.60 | 0.79 | 0.50 | 1.89  | 0.25 | 1.11    | 1.63 | 2.67     | 0.75 | 1.58    | 0.88 | 1.75  | 2.00 |
| 10   | 1.60 | 1.90 | 1.20 | 1.73  | 0.36 | 1.19    | 2.57 | 1.55     | 1.36 | 3.33    | 1.67 | 1.33  | 2.80 |
| 11   | 1.83 | 1.00 | 1.13 | 2.43  | 0.00 | 0.88    | 4.67 | 1.83     | 0.63 | 2.57    | 1.00 | 1.00  |      |
| 12   | 3.83 | 1.15 | 3.25 | 3.57  | 0.81 | 3.00    | 3.86 | 9.00     | 2.89 | 1.86    | 3.71 | 1.00  | 8.67 |
| 13   | 1.46 | 1.06 | 1.19 | 1.25  |      | 2.00    | 1.29 |          | 1.12 | 0.94    | 1.43 |       | 9.00 |
| 14   | 2.60 | 1.07 | 0.50 | 1.30  | 0.20 | 1.11    | 1.86 | 8.00     | 0.80 | 1.36    | 1.20 | 0.17  | 0.25 |
| 15   | 0.86 | 1.30 | 0.67 | 0.50  | 0.42 | 1.00    | 1.25 | 1.25     | 0.83 | 1.75    | 0.20 | 0.25  | 0.00 |
| 16   |      | 0.67 | 1.50 | 2.25  | 0.00 | 0.00    | 0.75 | 2.50     | 0.00 | 1.17    | 1.22 |       | 0.00 |
| 17   | 1.00 | 1.24 | 0.55 | 2.11  | 0.36 | 1.20    | 2.10 | 2.00     | 0.56 | 1.26    | 1.25 | 0.73  | 1.00 |
| 18   | 0.86 | 1.00 | 1.57 | 2.60  | 0.30 | 0.91    | 1.50 | 3.00     | 0.89 | 1.07    | 1.20 | 0.00  | 2.00 |
| 19   | 2.17 | 1.36 | 0.82 | 2.11  | 1.00 | 0.70    | 1.63 | 1.00     | 2.13 | 1.67    | 1.22 | 3.00  | 5.50 |
| 20   | 1.25 | 0.79 | 1.14 | 2.00  | 0.64 | 1.60    | 1.38 | 1.11     | 1.00 | 1.83    | 0.43 | 0.33  | 0.14 |
| 21   | 0.78 | 1.09 | 0.40 | 0.86  | 1.00 | 1.11    | 2.00 | 1.00     | 1.38 | 1.29    | 0.75 | 2.67  | 1.00 |
| 22   | 0.67 | 1.13 | 1.55 | 1.89  | 0.50 | 0.56    | 0.63 | 1.14     | 0.00 | 0.93    | 0.56 | 1.00  | 0.00 |
| 23   | 1.38 | 0.55 | 1.07 | 1.07  |      | 0.00    | 0.80 | 1.00     | 1.10 | 0.77    | 0.64 |       | 0.22 |
| 24   | 1.20 | 1.00 | 1.08 | 1.73  | 0.14 | 1.00    | 1.75 | 2.67     | 1.55 | 1.38    | 1.00 | 1.00  | 2.40 |
| 25   | 1.25 | 1.07 | 1.33 | 1.67  | 0.33 | 1.88    | 2.75 | 1.20     | 1.09 | 1.00    | 0.91 | 4.00  | 2.25 |
| 26   | 1.00 | 1.14 | 1.06 | 1.18  | 1.50 | 0.45    | 3.00 | 2.00     | 1.82 | 1.46    | 1.00 |       | 4.00 |
| 27   | 3.00 | 1.00 | 0.50 | 10.00 | 0.38 | 1.50    | 1.40 | 0.67     | 1.50 | 1.36    |      | 0.57  |      |
| 28   | 2.50 | 1.25 | 1.30 | 1.56  |      | 1.60    | 2.67 | 1.50     | 1.11 | 1.33    | 1.00 | 4.00  | 6.00 |
| 29   | 1.64 | 1.92 | 1.06 | 1.53  | 0.00 | 1.75    | 1.06 | 2.00     | 1.00 | 1.85    | 1.46 | 0.64  | 1.44 |
| 30   | 1.18 | 4.00 | 1.11 | 1.18  | 0.25 | 1.19    | 2.33 | 1.18     | 1.20 | 1.67    | 0.88 | 1.11  | 1.00 |
| 31   | 2.13 | 1.42 | 1.91 | 2.38  | 2.33 | 1.91    | 2.57 | 4.50     | 3.33 | 1.42    | 2.00 | 2.75  | 7.00 |

図1 施設別にみた褥瘡発生のO/E比

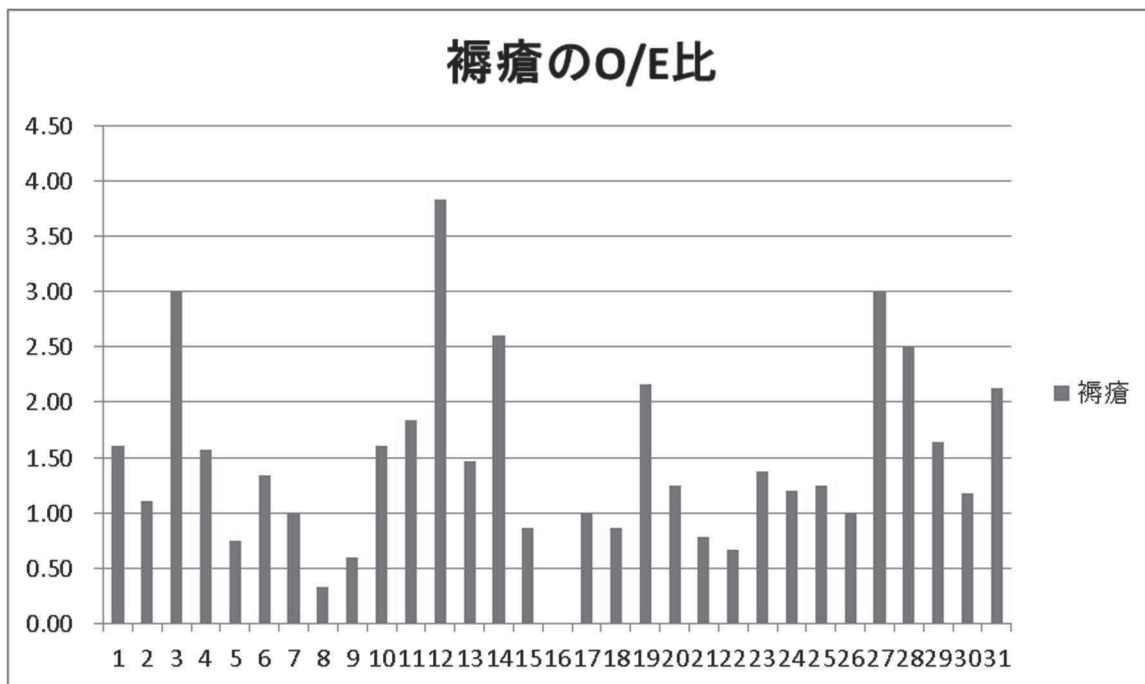


図2 施設別にみた転倒骨折発生のO/E比

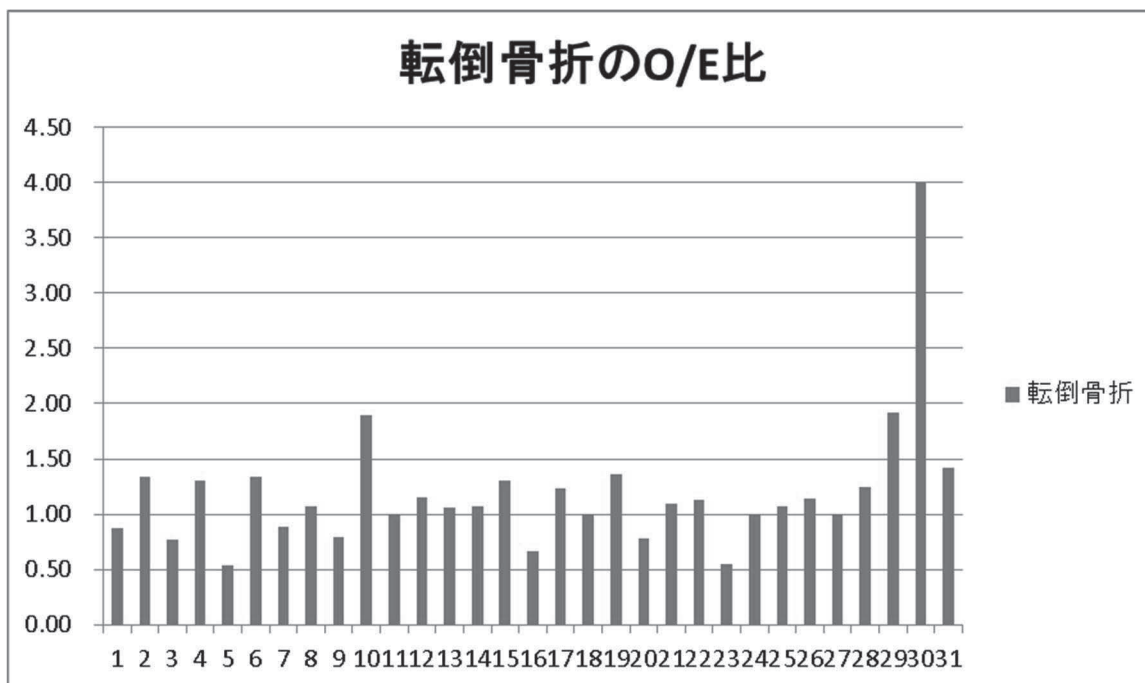




図3 施設別にみた低栄養発生のO/E比

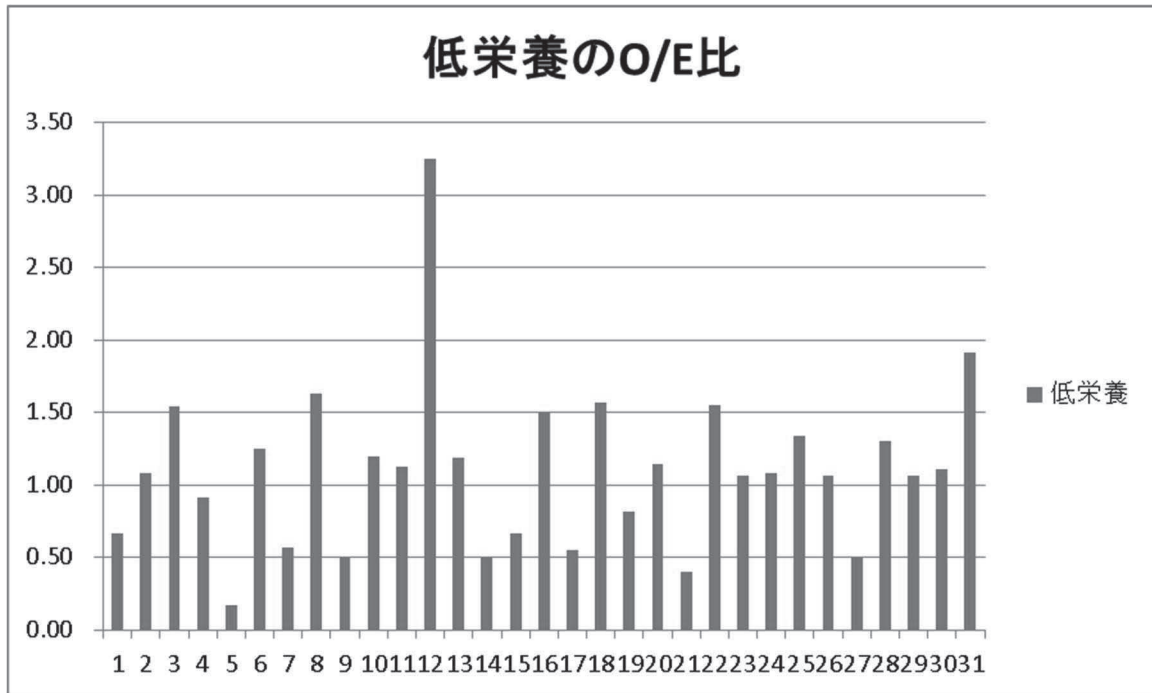


図4 施設別にみた尿失禁発生のO/E比

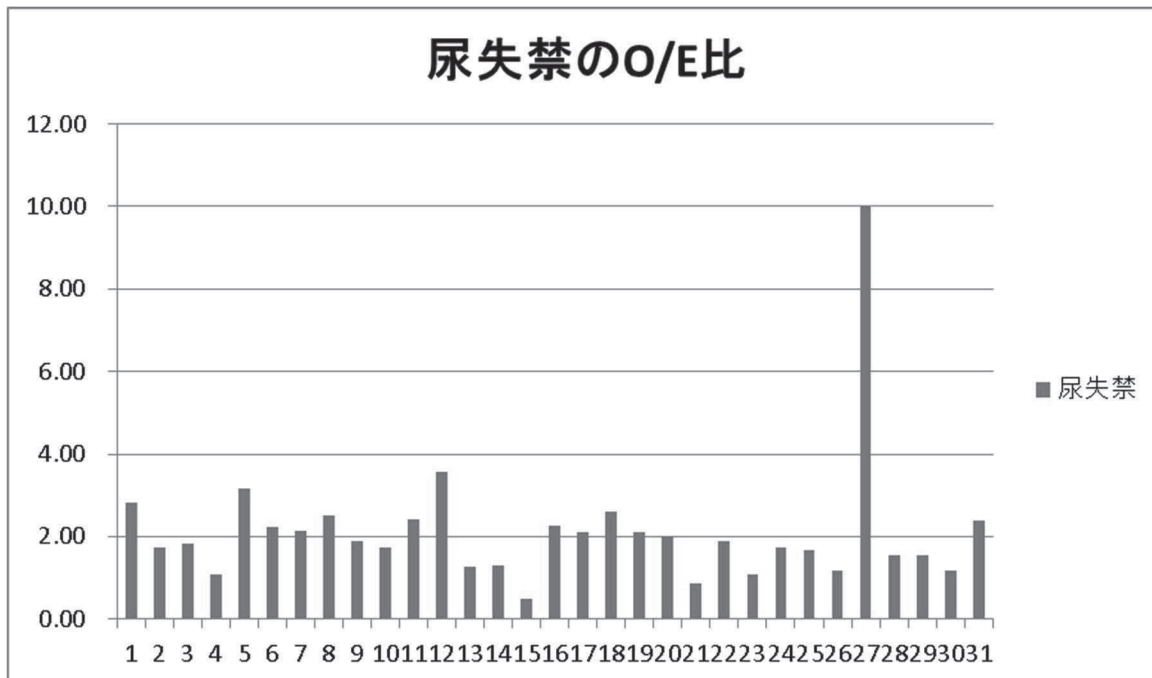


図 5 施設別にみた徘徊発生の O/E 比

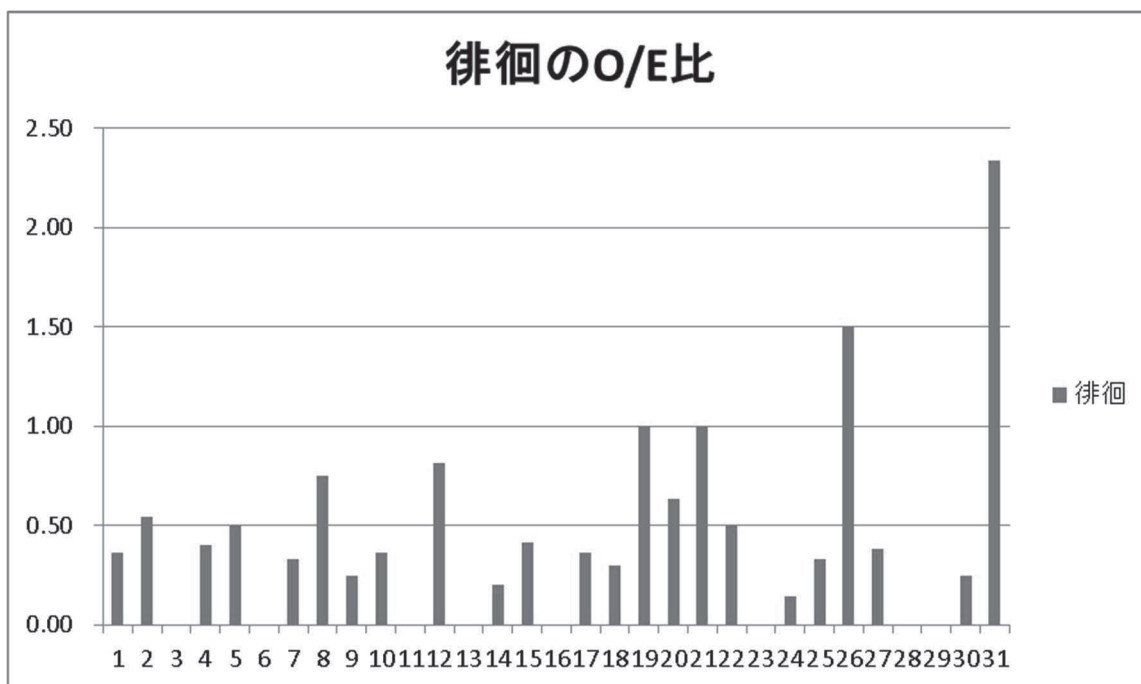


図 6 施設別にみた心肺機能の低下発生の O/E 比

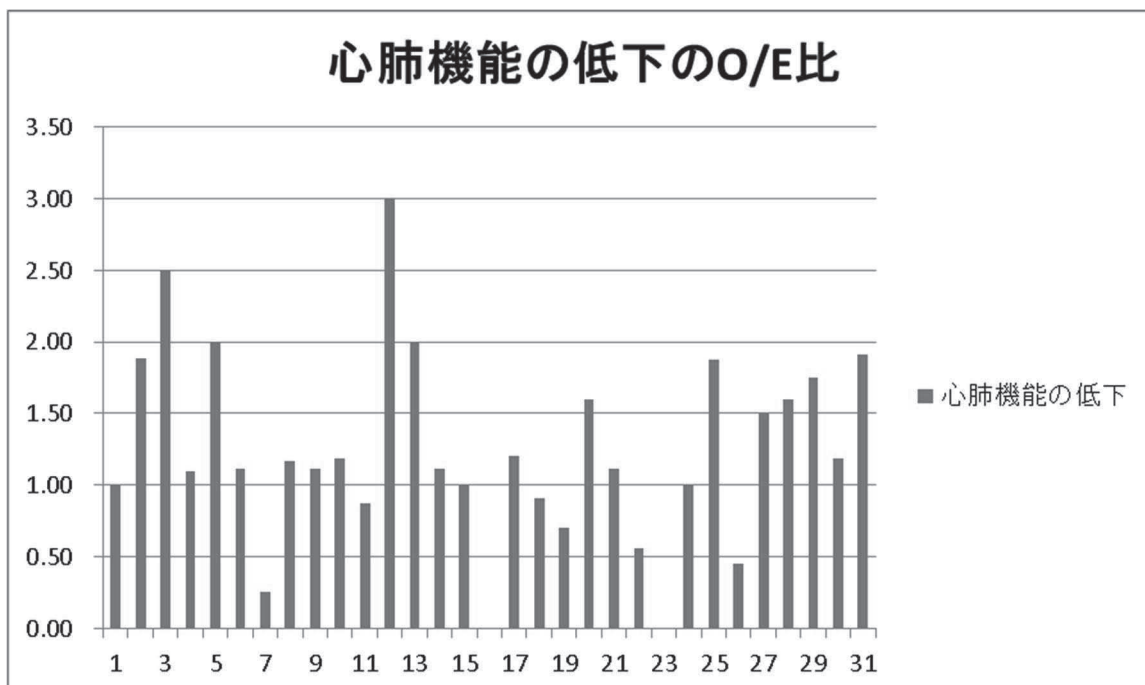


図7 施設別にみた意欲の低下発生のO/E比

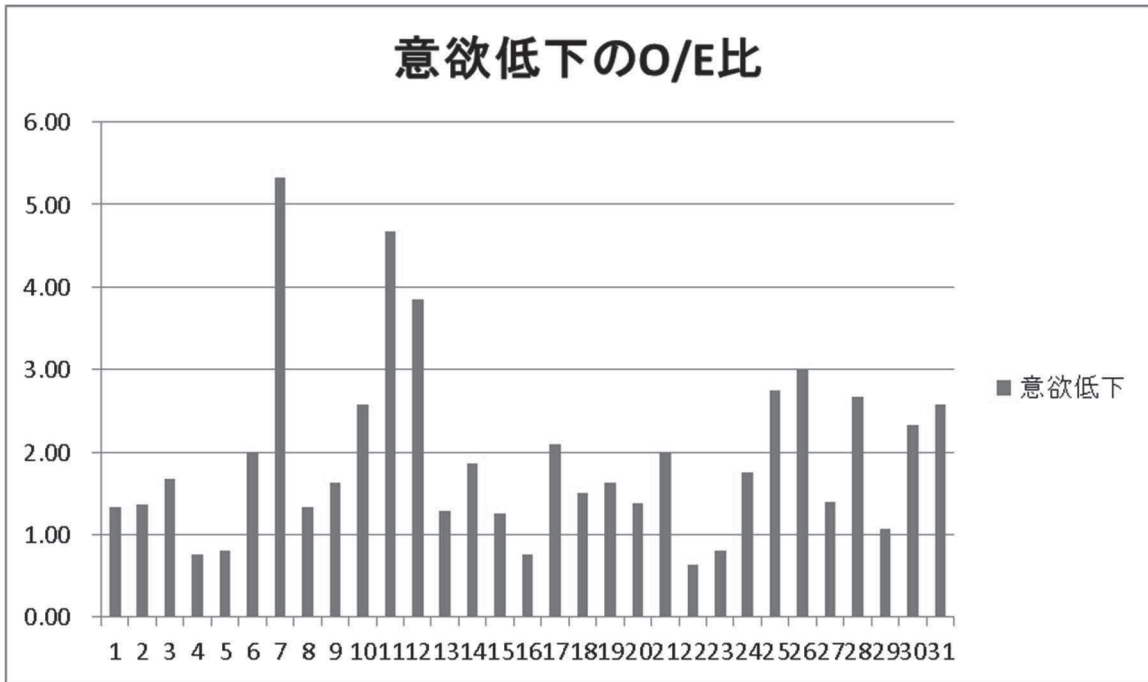


図8 施設別にみた摂食嚥下機能低下発生のO/E比

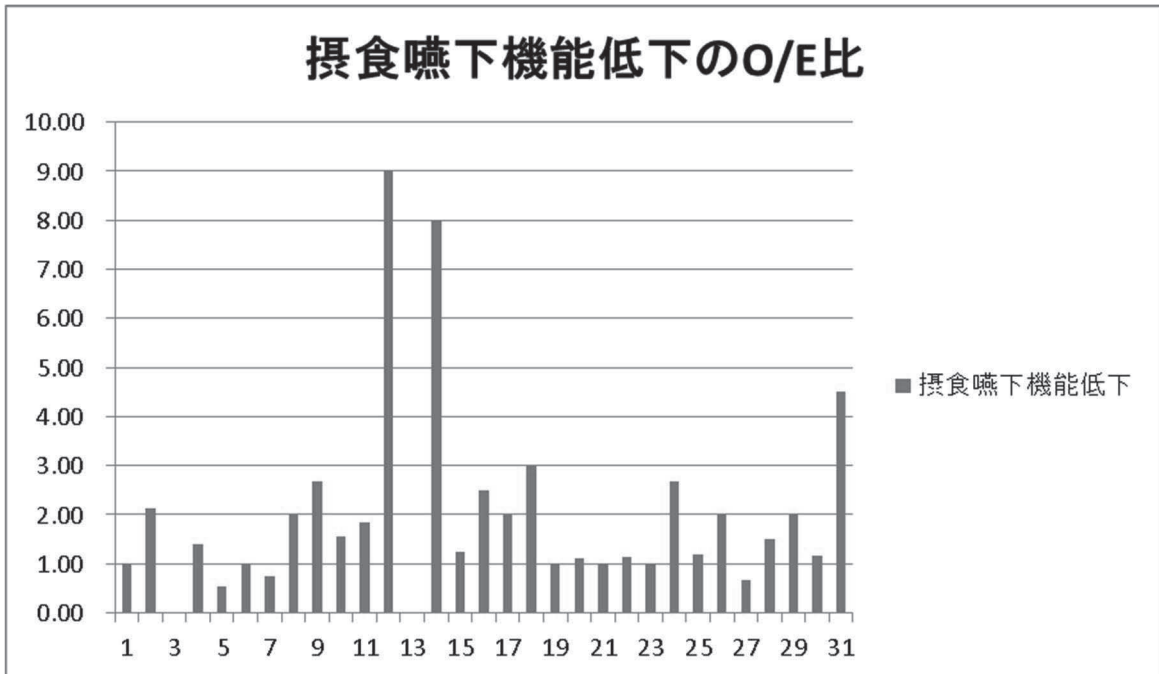


図9 施設別にみた発熱発生のO/E比

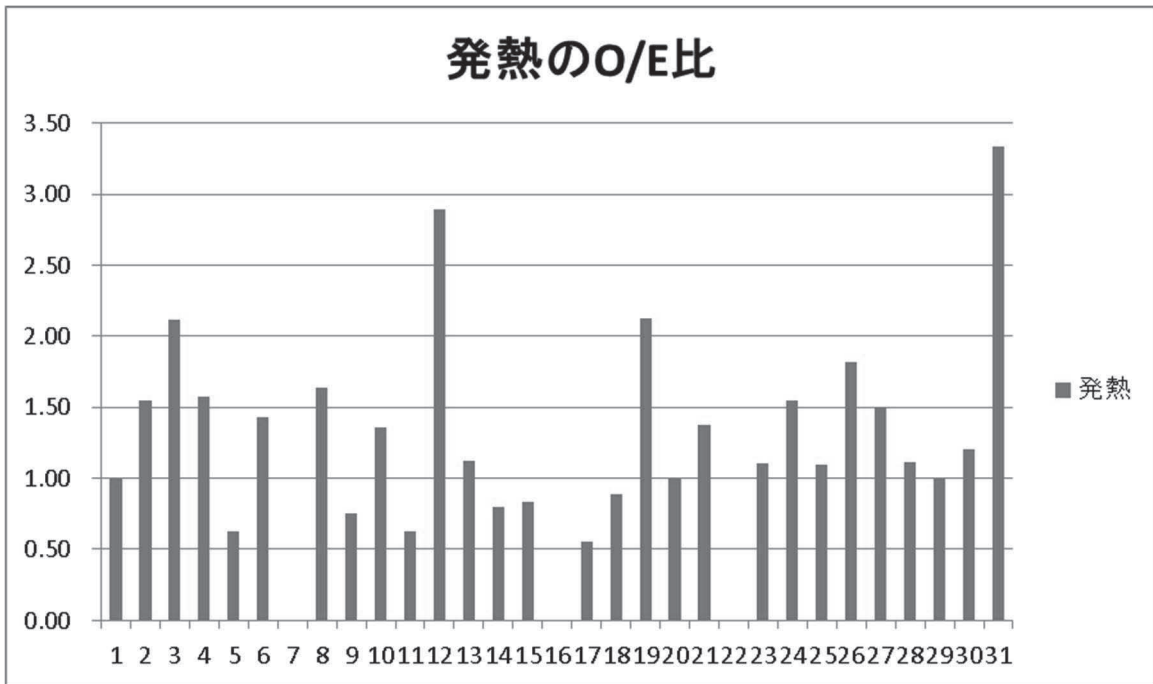


図10 施設別にみた移動能力低下発生のO/E比

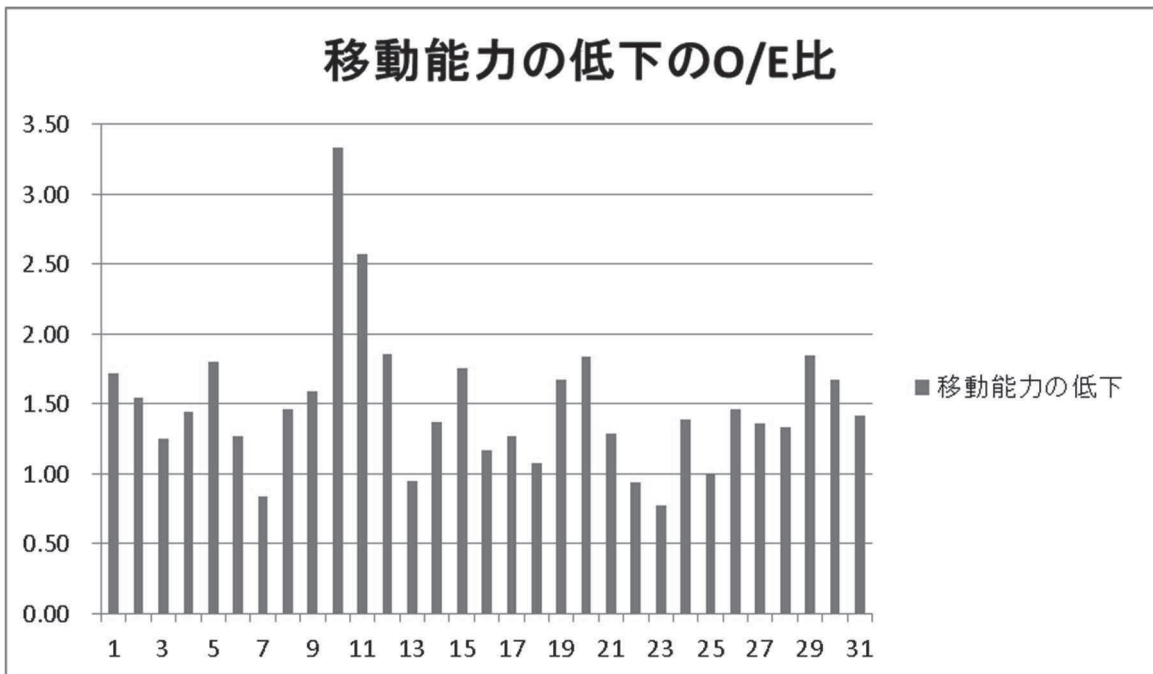


図 11 施設別にみた脱水発生 の O/E 比

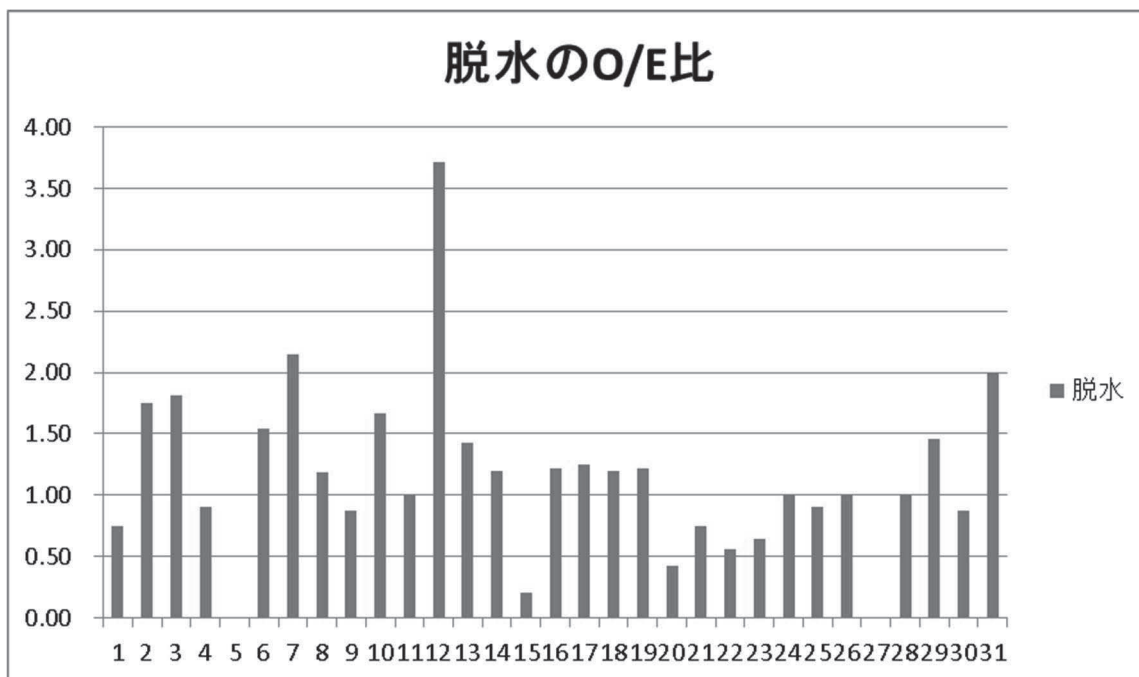


図 12 施設別にみた閉じこもり発生 の O/E 比

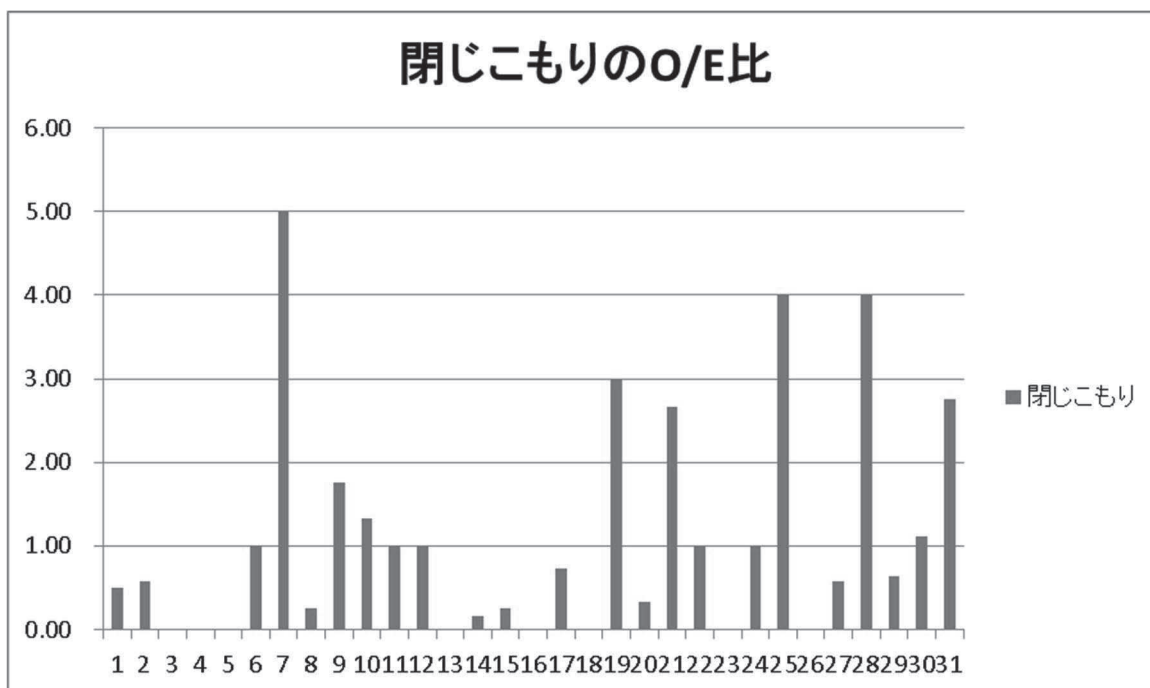


図 13 施設別にみた易感染性発生の O/E 比

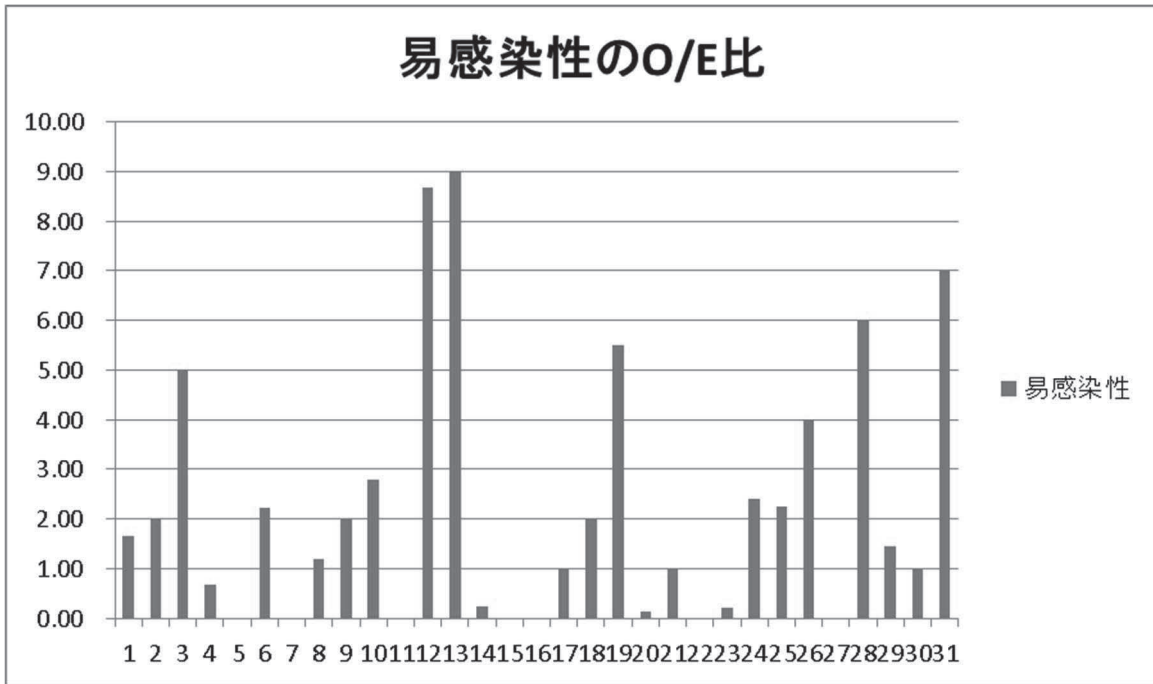
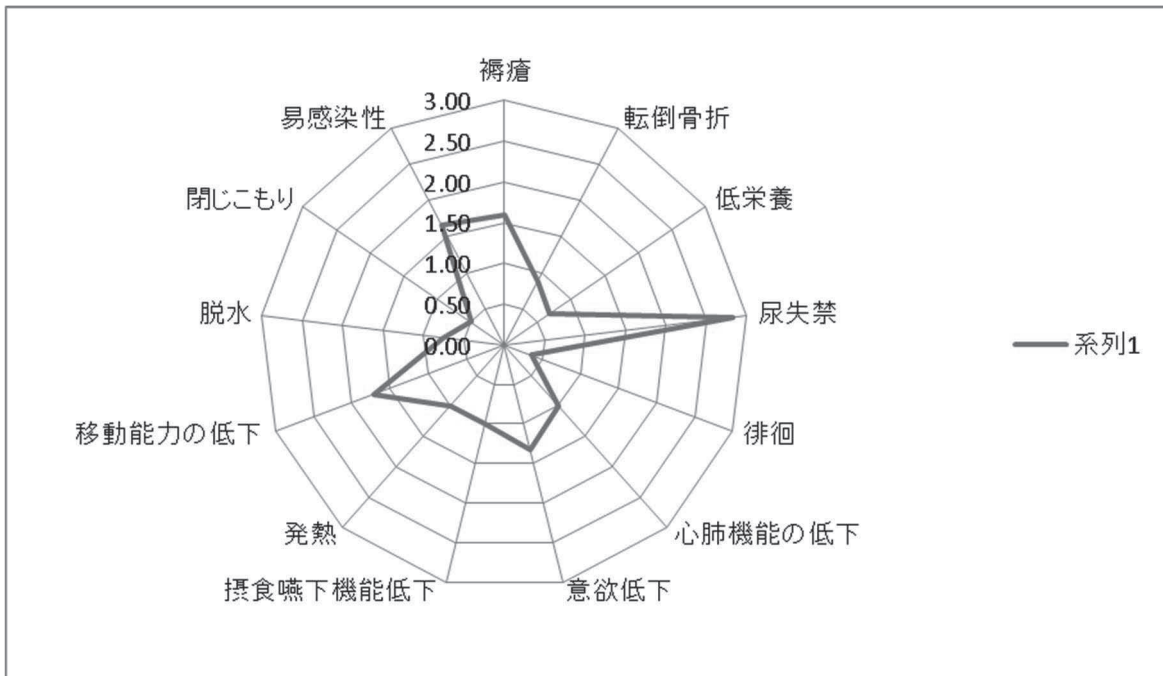


図 14 各指標の O/E 比のスパイダーグラフ(施設 1)



(2) 主治医意見書をベースとした慢性期の要介護高齢者の医療ニーズに関する医師意見書案

慢性期の要介護高齢者の医療ニーズに関する医師意見書

記入日 令和 年 月 日

|  |   |             |        |  |
|--|---|-------------|--------|--|
| 申請者  | (ふりがな)  | 男<br>・<br>女 | 保険者番号  |  |
|  |   |             | 被保険者番号 |  |
|  | 明・大・昭 年 月 日生( 歳)  |             |        |  |
| 上記の申請者に関する意見は以下の通りです。<br>主治医として、本意見書が介護サービス計画作成に利用されることに <input type="checkbox"/> 同意する。 <input type="checkbox"/> 同意しない。<br>医師氏名 _____<br>施設名 _____ 電話 ( ) _____<br>事業所番号 _____ FAX ( ) _____ |   |             |        |  |
| (1) 診察日  | 令和 年 月 日  |             |        |  |
| (2) 入所年月日  | <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日   |             |        |  |
| (3) 要介護度   | <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2<br><input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 |             |        |  |

1. 傷病に関する意見

|   |
|---|
| (1) 診断名及び ICD (特定疾病または生活機能低下の直接の原因となっている傷病名を記入) 及び発症年月日<br>1. _____ ( ) 発症年月日 (昭和・平成・令和 年 月 日頃)<br>2. _____ ( ) 発症年月日 (昭和・平成・令和 年 月 日頃)<br>3. _____ ( ) 発症年月日 (昭和・平成・令和 年 月 日頃)   |
| (2) 症状としての安定性 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> 不明<br>(「不安定」とした場合、具体的な状況を記入)  |
| (3) 現在治療中及びケアにあたって留意すべき疾病<br><input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 血中脂質異常 <input type="checkbox"/> 認知症<br><input type="checkbox"/> 気分障害 <input type="checkbox"/> 他精神疾患 <input type="checkbox"/> 虚血性心疾患 <input type="checkbox"/> 心房細動<br><input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 呼吸不全 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> 褥瘡<br><input type="checkbox"/> 下肢血管障害 <input type="checkbox"/> 脊椎障害 <input type="checkbox"/> 上下肢廃用症候群 <input type="checkbox"/> 骨折<br><input type="checkbox"/> 腎不全 <input type="checkbox"/> 肺炎 (誤嚥性以外) <input type="checkbox"/> 誤嚥性肺炎<br><input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> 多発性硬化症 <input type="checkbox"/> パーキンソン関連疾患<br><input type="checkbox"/> 筋萎縮性側索硬化症 <input type="checkbox"/> 脊椎損傷 <input type="checkbox"/> 脱水 <input type="checkbox"/> 消化管出血<br><input type="checkbox"/> 感染性胃腸炎 |
| (4) 生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容<br>(最近 (概ね 6ヶ月以内) 介護に影響のあったもの 及び 特定疾病についてはその診断の根拠等について記入)   |
| (5) 過去 1ヶ月における感染症への罹患状況<br><input type="checkbox"/> 感染性腸炎 発症年月日 (令和 年 月 日頃) <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 治療中<br><input type="checkbox"/> インフルエンザ 発症年月日 (令和 年 月 日頃) <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 治療中<br><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス 発症年月日 (令和 年 月 日頃) <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 治療中  |

□その他 ( ) 発症年月日 (令和 年 月 日頃) □治癒 □治療中

2. 特別な医療 (過去14日間以内に受けた医療のすべてにチェック) コードは看護実践用語標準マスター<看護行為編 Ver3.6>使用

|               |   |
|---------------|---|
| <u>処置内容</u>   | 点滴の管理(□D132;輸液ルート, □D441;抹消静脈カテーテル) □中心静脈栄養(D440; 中心静脈カテーテル)<br>□透析(C152;透析管理の指導) □ストーマの処置(C145;ストーマ管理の指導) □酸素療法(D114;酸素療法)<br>□レスピレーター(D273;呼吸器作動状態の確認) □気管切開の処置(D546;気管カニューレ)<br>□疼痛の看護(C64;疼痛緩和) □経管栄養(C024;経管栄養)<br>□5種以上の薬剤の投与 □血糖測定・インスリン注射 □静脈注射 □ストーマの管理 □疼痛の管理(麻薬なし)<br>□疼痛の管理(麻薬利用) □昇圧剤の投与 □心マッサージ □手術(内視鏡下を含む) □喀痰吸引<br>□ネブライザー □創傷処置(褥瘡を除く) □服薬管理 □認知症に関する専門的ケア □排便(D024;排便)<br>□浣腸(D021;浣腸) □一時的導尿(C038;導尿) □輸血(血液製剤を含む) □多職種によるカンファレンス |
| <u>特別な対応</u>  | □モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) □褥瘡の処置(D428;褥瘡の処置・管理)   |
| <u>失禁への対応</u> | カテーテル(□C277;コンドームカテーテル, □C040;留置カテーテル 等)  |

3. 心身の状態に関する意見

(1) 日常生活の自立度等について

・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) □自立 □J1 □J2 □A1 □A2 □B1 □B2 □C1 □C2

・認知症高齢者の日常生活自立度 □自立 □I □IIa □IIb □IIIa □IIIb □IV □M

(2) 認知症の中核症状 (認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)

|                           | 無し      | 軽度        | 中等度       | 重度        | 完全障害      | 詳細不明      | 非該当       |           |
|---------------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ・短期記憶 (b1440)             |         |           |           |           |           |           |           |           |
| 機能障害の程度                   | □b114.0 | □b114.1   | □b114.2   | □b114.3   | □b114.4   | □b114.8   | □b114.9   |           |
| ・日常の意思決定を行うための認知能力 (d177) |         |           |           |           |           |           |           |           |
| 困難の程度                     | 実行状況    | □d177.0   | □d177.1   | □d177.2   | □d177.3   | □d177.4   | □d177.8   | □d177.9   |
|                           | 能力      | □d177.x0  | □d177.x1  | □d177.x2  | □d177.x3  | □d177.x4  | □d177.x8  | □d177.x9  |
|                           | 支援有り    | □d177.xx0 | □d177.xx1 | □d177.xx2 | □d177.xx3 | □d177.xx4 | □d177.xx8 | □d177.xx9 |
| ・自分の意思の伝達能力 (b110)        |         |           |           |           |           |           |           |           |
| 機能障害の程度                   | □b110.0 | □b110.1   | □b110.2   | □b110.3   | □b110.4   | □b110.8   | □b110.9   |           |

(3) 認知症の周辺症状 (該当する項目全てチェック: 認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)

□無 □有 □幻視・幻聴 □妄想 □昼夜逆転 □暴言 □暴行 □介護への抵抗 □徘徊

□火の不始末 □不潔行為 □異食行動 □性的問題行動 □その他 ( )

(4) その他の精神・神経症状

□無 □有〔症状名: 専門医受診の有無 □有 ( ) □無〕

(5) 身体の状態

利き腕 (□右 □左) 身長 = cm 体重 = kg (過去6ヶ月の体重の変化 □増加 □維持 □減少)

四肢欠損 □なし

□右上肢完全欠損 (s730.x11) □右上肢部分欠損 (s730.x21) □左上肢完全欠損 (s730.x12) □左上肢部分欠損 (s730.x22)

□右下肢完全欠損 (s750.x11) □右下肢部分欠損 (s750.x21) □左下肢完全欠損 (s750.x12) □左下肢部分欠損 (s750.x22)

|                |         |         |         |         |         |         |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 麻痺 □なし         | 筋力の機能低下 |         |         |         |         |         |
|                | 軽度      | 中等度     | 重度      | 完全      | 詳細不明    | 非該当     |
| □左上肢(s730.002) | □b730.1 | □b730.2 | □b730.3 | □b730.4 | □b730.8 | □b730.9 |
| □右上肢(s730.001) | □b730.1 | □b730.2 | □b730.3 | □b730.4 | □b730.8 | □b730.9 |
| □左下肢(s750.002) | □b730.1 | □b730.2 | □b730.3 | □b730.4 | □b730.8 | □b730.9 |
| □右下肢(s750.001) | □b730.1 | □b730.2 | □b730.3 | □b730.4 | □b730.8 | □b730.9 |



| 筋力低下 □なし           | 筋緊張の機能低下   |           |           |           |           |           |
|--------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □左上肢(s730.002)     | □b735.1    | □b735.2   | □b735.3   | □b735.4   | □b735.8   | □b735.9   |
| □右上肢(s730.001)     | □b735.1    | □b735.2   | □b735.3   | □b735.4   | □b735.8   | □b735.9   |
| □左下肢(s750.002)     | □b735.1    | □b735.2   | □b735.3   | □b735.4   | □b735.8   | □b735.9   |
| □右下肢(s750.001)     | □b735.1    | □b735.2   | □b735.3   | □b735.4   | □b735.8   | □b735.9   |
| 関節の拘縮 □なし          | 関節の可動性の機能  |           |           |           |           |           |
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □左肩関節 (s7201.002)  | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| □右肩関節 (s7201.001)  | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| □左股関節 (s75001.002) | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| □右股関節 (s75001.001) | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| □左膝関節 (s75011.002) | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| □右膝関節 (s75011.001) | □b710.1    | □b710.2   | □b710.3   | □b710.4   | □b710.8   | □b710.9   |
| 関節の痛み □なし          | 関節の痛み      |           |           |           |           |           |
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □左肩関節 (s7201.002)  | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| □右肩関節 (s7201.001)  | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| □左股関節 (s75001.002) | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| □右股関節 (s75001.001) | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| □左膝関節 (s75011.002) | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| □右膝関節 (s75011.001) | □b28016.1  | □b28016.2 | □b28016.3 | □b28016.4 | □b28016.8 | □b28016.9 |
| 失調・不随意運動 □なし       | 上肢や下肢の支持機能 |           |           |           |           |           |
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □左上肢(s730.002)     | □b7603.1   | □b7603.2  | □b7603.3  | □b7603.4  | □b7603.8  | □b7603.9  |
| □右上肢(s730.001)     | □b7603.1   | □b7603.2  | □b7603.3  | □b7603.4  | □b7603.8  | □b7603.9  |
| □左下肢(s750.002)     | □b7603.1   | □b7603.2  | □b7603.3  | □b7603.4  | □b7603.8  | □b7603.9  |
| □右下肢(s750.001)     | □b7603.1   | □b7603.2  | □b7603.3  | □b7603.4  | □b7603.8  | □b7603.9  |
| 褥瘡 □なし             | 皮膚の保護機能    |           |           |           |           |           |
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □頭頸部 (s8100)       | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □肩部 (s8101)        | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □上肢 (s8102)        | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □下腹部及び臀部 (s8103)   | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □下肢 (s8104)        | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □体幹と体幹背部 (s8105)   | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □その他 (s8106)       | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| □詳細不明 (s8107)      | □b810.1    | □b810.2   | □b810.3   | □b810.4   | □b810.8   | □b810.9   |
| その他の皮膚疾患 □なし       | その他の皮膚の機能  |           |           |           |           |           |
|                    | 軽 度        | 中等度       | 重 度       | 完 全       | 詳細不明      | 非該当       |
| □頭頸部 (s8100)       | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □肩部 (s8101)        | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □上肢 (s8102)        | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □下腹部及び臀部 (s8103)   | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □下肢 (s8104)        | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □体幹と体幹背部 (s8105)   | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □その他 (s8106)       | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |
| □詳細不明 (s8107)      | □b830.1    | □b830.2   | □b830.3   | □b830.4   | □b830.8   | □b830.9   |

#### 4. 生活機能とサービスに対する意見

##### (1) 移動

| 屋外歩行               |      | 機能障害の程度                            |                                    |                                      |                                    |                                      |                                    |                                    |
|--------------------|------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
|                    |      | 無し                                 | 軽度                                 | 中等度                                  | 重度                                 | 完全障害                                 | 詳細不明                               | 非該当                                |
| 困難の程度              | 実行状況 | <input type="checkbox"/> d4500.0   | <input type="checkbox"/> d4500.1   | <input type="checkbox"/> d4500.2     | <input type="checkbox"/> d4500.3   | <input type="checkbox"/> d4500.4     | <input type="checkbox"/> d4500.8   | <input type="checkbox"/> d4500.9   |
|                    | 能力   | <input type="checkbox"/> d4500.x0  | <input type="checkbox"/> d4500.x1  | <input type="checkbox"/> d4500.x2    | <input type="checkbox"/> d4500.x3  | <input type="checkbox"/> d4500.x4    | <input type="checkbox"/> d4500.x8  | <input type="checkbox"/> d4500.x9  |
|                    | 支援有り | <input type="checkbox"/> d4500.xx0 | <input type="checkbox"/> d4500.xx1 | <input type="checkbox"/> d4500.xx2   | <input type="checkbox"/> d4500.xx3 | <input type="checkbox"/> d4500.xx4   | <input type="checkbox"/> d4500.xx8 | <input type="checkbox"/> d4500.xx9 |
| 車いすの使用             |      | <input type="checkbox"/> 用いていない    |                                    | <input type="checkbox"/> 主に自分で操作している |                                    | <input type="checkbox"/> 主に他人が操作している |                                    |                                    |
| 歩行補助具・装具の使用(複数選択可) |      | <input type="checkbox"/> 用いていない    |                                    | <input type="checkbox"/> 屋外で使用       |                                    | <input type="checkbox"/> 屋内で使用       |                                    |                                    |

##### (2) 栄養・食生活

##### 食事行為

| 食べること |      | 機能障害の程度                         |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |
|-------|------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|       |      | 無し                              | 軽度                              | 中等度                             | 重度                              | 完全障害                            | 詳細不明                            | 非該当                             |
| 困難の程度 | 実行状況 | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |
|       | 能力   | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |
|       | 支援有り | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |

##### 飲むこと

|       |      |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |
|-------|------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 困難の程度 | 実行状況 | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |
|       | 能力   | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |
|       | 支援有り | <input type="checkbox"/> d5x0.0 | <input type="checkbox"/> d5x0.1 | <input type="checkbox"/> d5x0.2 | <input type="checkbox"/> d5x0.3 | <input type="checkbox"/> d5x0.4 | <input type="checkbox"/> d5x0.8 | <input type="checkbox"/> d5x0.9 |

現在の栄養状態 良好 不良

→ 栄養・食生活上の留意点 ( )

##### (3) 現在ある状態とその対処方針

尿失禁 (b6202) 転倒・骨折 移動能力の低下 (d450) 褥瘡 (b810) 心肺機能の低下 (b410・b440) 閉じこもり (b122)  
意欲低下 (b130) 徘徊 (b198) 低栄養 (e44) 摂食・嚥下機能低下 (b510) 脱水 (e86) 易感染性 (※)  
がん等による疼痛 (r52) 発熱 その他 ( ) ※ICDを入れたほうが良い項目

→ 対処方針 ( )

##### (4) 今後発生する可能性の高い状態とその対処方針

尿失禁 (b6202) 転倒・骨折 移動能力の低下 (d450) 褥瘡 (b810) 心肺機能の低下 (b410・b440) 閉じこもり (b122)  
意欲低下 (b130) 徘徊 (b198) 低栄養 (e44) 摂食・嚥下機能低下 (b510) 脱水 (e86) 易感染性 (※)  
がん等による疼痛 (r52) 発熱 その他 ( ) ※ICDを入れたほうが良い項目

→ 対処方針 ( )

##### (5) サービス利用による生活機能の維持・改善の見通し

期待できる 期待できない 不明

##### (6) 退所後の医学的管理の必要性 (特に必要性の高いものには下線を引いて下さい。予防給付により提供されるサービスを含みます。)

訪問診療 訪問看護 看護職員の訪問による相談・支援 訪問歯科診療  
訪問薬剤管理指導 訪問リハビリテーション 短期入所療養介護 訪問歯科衛生指導  
訪問栄養食事指導 通所リハビリテーション その他の医療系サービス ( )

(7) サービス提供時における医学的観点からの留意事項

- ・血圧 特になし あり ( ) ・移動 特になし あり ( )  
・摂食 特になし あり ( ) ・運動 特になし あり ( )  
・嚥下 特になし あり ( ) ・その他 ( )

5. 特記すべき事項

要介護認定及び介護サービス計画作成時に必要な医学的なご意見等を記載して下さい。なお、専門医等に別途意見を求めた場合はその内容、結果も記載して下さい。(情報提供書や身体障害者申請診断書の写し等を添付して頂いても結構です。)

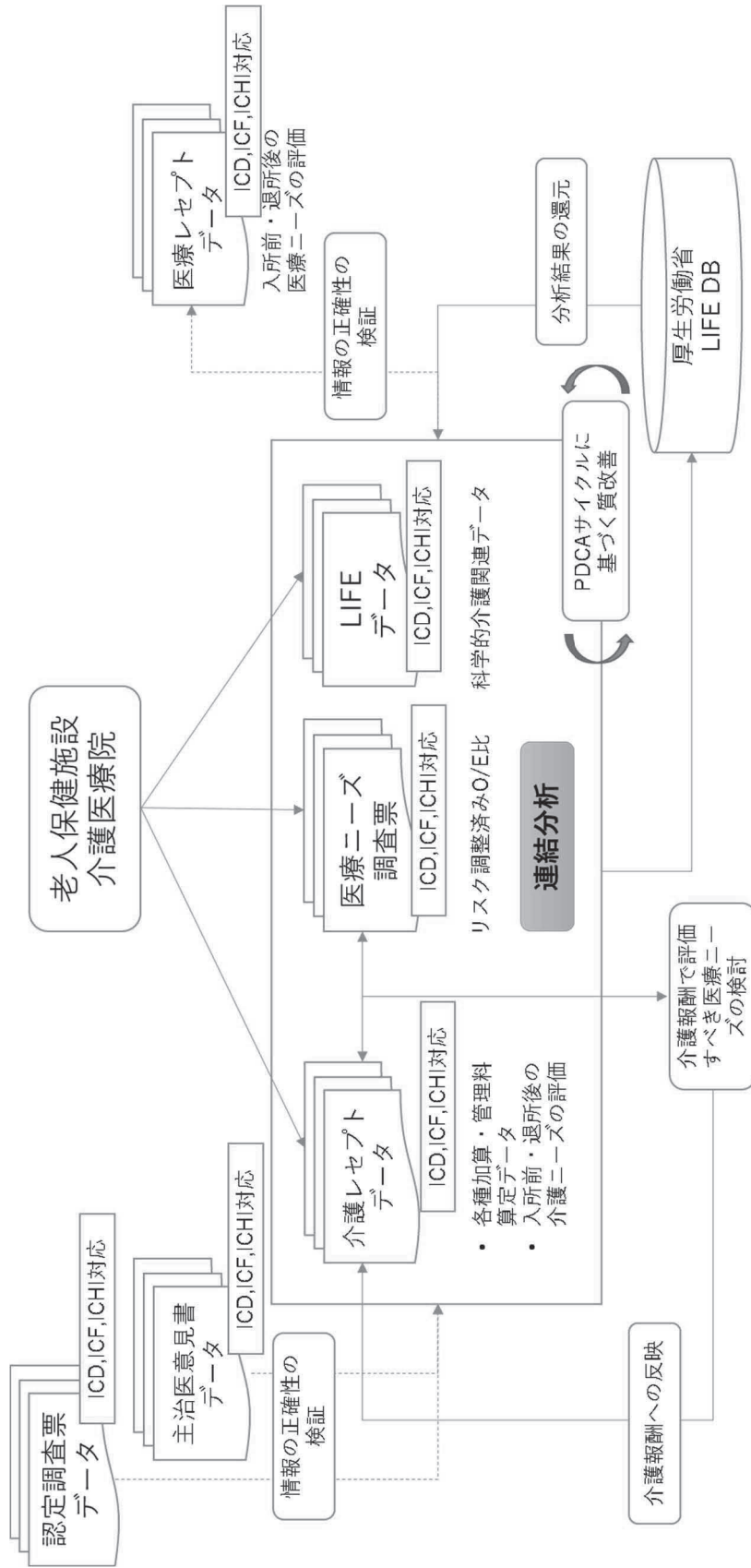
図 15 は今年度の検討をもとに、本研究事業で収集する情報とその分析視点の概要を示したものである。今年度研究で行った老人保健施設後の要介護高齢者の傷病及び医療介護サービス利用の状況を見ると、訪問診療と医療保険による訪問看護が入る病態で医療費が多くかかっていることが明らかとなった。なかでも厚生労働省が定める特掲診療料の施設基準等別表第 7 号に掲げる疾病等については、医薬品費も高額になることから、老人保健施設における医療ニーズ対応に関して別途配慮がある疾患であると考えられた。また、NOAC/DOAC のような心房細動における脳梗塞予防に使われる薬についても検討が必要であることが示唆された。これらの疾患は老人保健施設対象後も継続的な管理が必要なものであり、したがって経済的な問題については入所前後の医科レセプト・調剤レセプトを検討することである程度明らかにすることができる。加えて、表 26、表 27 で示した医療ニーズ調査票や主治医意見書の情報と組み合わせることで、医療ニーズの適正評価のための仕組みを作ることができると思う。今回の新型コロナ感染の流行のように、高齢者施設の医療ニーズは時代とともに、その種類・規模が変化する。したがって医療ニーズ調査票などを制度化することで、継続的にその対象を見直す仕組みを構築することが必要だろう。

この医療ニーズ調査票は老人保健施設や介護医療院におけるサービスの質評価の視点からも重要である。我々のものを含むこれまでの研究では、肺炎や尿路感染症、心不全の急性増悪などの医療的なイベントの発生が要介護度を悪化させることが明らかとなっている。したがって、これらの施設における医療ニーズの評価のためには、これらを予防する取り組みについても評価する必要がある。予防のための構造と過程については、介護報酬で規定されている人員基準や各種加算や管理料により把握することが可能であるが、現行制度ではアウトカム評価ができない。そのために、我々は主治医意見書の「4. 生活機能とサービスに対する意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」に記載のある情報をもとにサービスの質評価のためのアウトカム指標を作成することができることを、過去の研究事業で明らかにしている。今回試行的に作成した医療ニーズ評価票ではこれらの項目を含めている。期待発生数を計算するためには、判別分析のロジックの精緻化が必要となる。そのためには大規模なデータが必要であり、また高齢化に伴う傷病構造の変化あるいは医療技術・介護技術の高度化に伴い、このロジックは変わりうるものである。したがって、質評価の精緻化のための情報についても、この医療ニーズ調査票を用いて継続的に精緻化できるようにすべきだろう。

現行制度では所定疾患療養費で肺炎や尿路感染症、带状疱疹の医療ニーズに対応しているが、これら三疾患に関しては、新型コロナウイルス感染による肺炎を別とすれば、現行制度で対応ができていると考えられた。しかしながら、高額医療費を必要とする傷病の多様性を考慮すると、評価の在り方について抜本的な見直しが必要かもしれない。

なお、作成した医療ニーズ調査票については、今後関連団体(全国老人保健施設協会、日本介護医療院協会)の関係者と協議を行い、内容の加筆修正を行う予定である。

図 15 本研究で収集するデータと分析視点の概要



#### 引用文献

- 1) 学校法人産業医科大学：平成 28 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業「介護保険サービスの質の評価に資する利用者の状態把握に関する調査研究事業」報告書(平成 29 年 3 月)